

北広島市国民健康保険  
保健事業実施計画  
(データヘルス計画)  
平成27年度～平成29年度  
(案)

平成 年 月  
北広島市

-目次-

<b>保健事業実施計画(データヘルス計画)の基本的事項</b>		
1	背景	1
2	保健事業実施計画(データヘルス計画)の位置づけ	2
3	計画期間	3
4	北広島市の特性把握	5
	(1)基本情報	5
	(2)医療費等の状況	6
	(3)特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	7
	(4)介護保険の状況	8
	(5)死因の状況	10
5	過去の取組みの考察	13
	(1)特定健康診査・特定保健指導の導入	13
	(2)実施状況	13
	(3)関係部署が実施する保健事業との関連	14
<b>健康・医療情報の分析及び分析結果に基づく健康課題の把握</b>		<b>15</b>
1	医療費状況の把握	15
	(1)基礎統計	15
	(2)高額レセプトの件数及び要因	16
	高額レセプトの件数及び割合	16
	高額レセプトの年齢階層別統計	17
	高額レセプトの要因となる疾病傾向	18
	(3)疾病別医療費	19
	大分類による疾病別医療費統計	19
	中分類による疾病別医療費統計	35
	(4)医療機関受診状況の把握	39
	(5)ジェネリック医薬品の普及状況	41
2	統計結果	42
	(1)分析結果	42
3	予防可能な疾病の把握と課題の分析	44
	(1)医療(レセプト)の把握と分析	44
	(2)介護(レセプト)の把握と分析	45
	(3)健診の把握と分析	47
	(4)未受診者の状況	50
	(5)重症化予防対象者の状況	51
	(6)目的・目標の設定	53

-目次-

	健康寿命の延伸と健康格差の縮小への取組み	53
	これまでの取組みと今後の方針	53
	成果目標	54
	<b>保健事業の実施内容</b>	<b>56</b>
	1 実施事業の目的と概要	56
	2 その他の保健事業	57
	(1)慢性閉塞性肺疾患(COPD)対策	57
	(2)重複受診者への適切な受診指導	59
	(3)後発医薬品の使用促進	59
	3 事業実施計画(データヘルス計画)の評価方法の設定	60
	4 データヘルス計画の見直し	67
	5 計画の公表・周知	67
	6 事業運営上の留意事項	67
	7 個人情報の保護	67

本計画の分析は、国保データベース(KDB)システムの活用と、平成27年2月までのレセプトデータ分析によるものです。

国保データベース(KDB)システム:

国民健康保険団体連合会が保険者の委託を受けて行う国民健康保険・介護保険制度の共同電算業務を通じ管理する特定健診、医療、介護等に関する情報を活用し、統計情報を保険者に提供するもの。

# 保健事業実施計画(データヘルス計画)の基本的事項

## 1 背景

近年、特定健康診査の実施や診療報酬明細書等(以下「レセプト等」という。)の電子化の進展、国保データベース(KDB)システム(以下「KDB」という。)等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤の整備が進んでいます。

こうした中、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においても、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取組みを行うことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされました。

これまで、保険者においては、レセプト等や統計資料等を活用することにより、「特定健診等実施計画」の策定や見直し、その他の保健事業を実施してきましたが、今後は、さらなる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開や、ポピュレーションアプローチ(集団全体への働きかけ)から重症化予防まで網羅的に保健事業を進めていくことなどが求められています。

厚生労働省においては、こうした背景を踏まえ、平成26年3月31日に国民健康保険法(昭和33年法律第192号)第82条第4項の規定に基づき厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(平成16年厚生労働省告示第307号。以下「保健事業実施指針」という。)の一部を改定し、保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクル(Plan:計画、Do:実施、Check:評価、Action:改善)に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画(データヘルス計画)を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うものとされました。

北広島市においては、保健事業実施指針に基づき、「北広島市保健事業実施計画(データヘルス計画)」を定め、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防等の保健事業の実施及び評価を行うものとします。

## 2 保健事業実施計画(データヘルス計画)の位置づけ

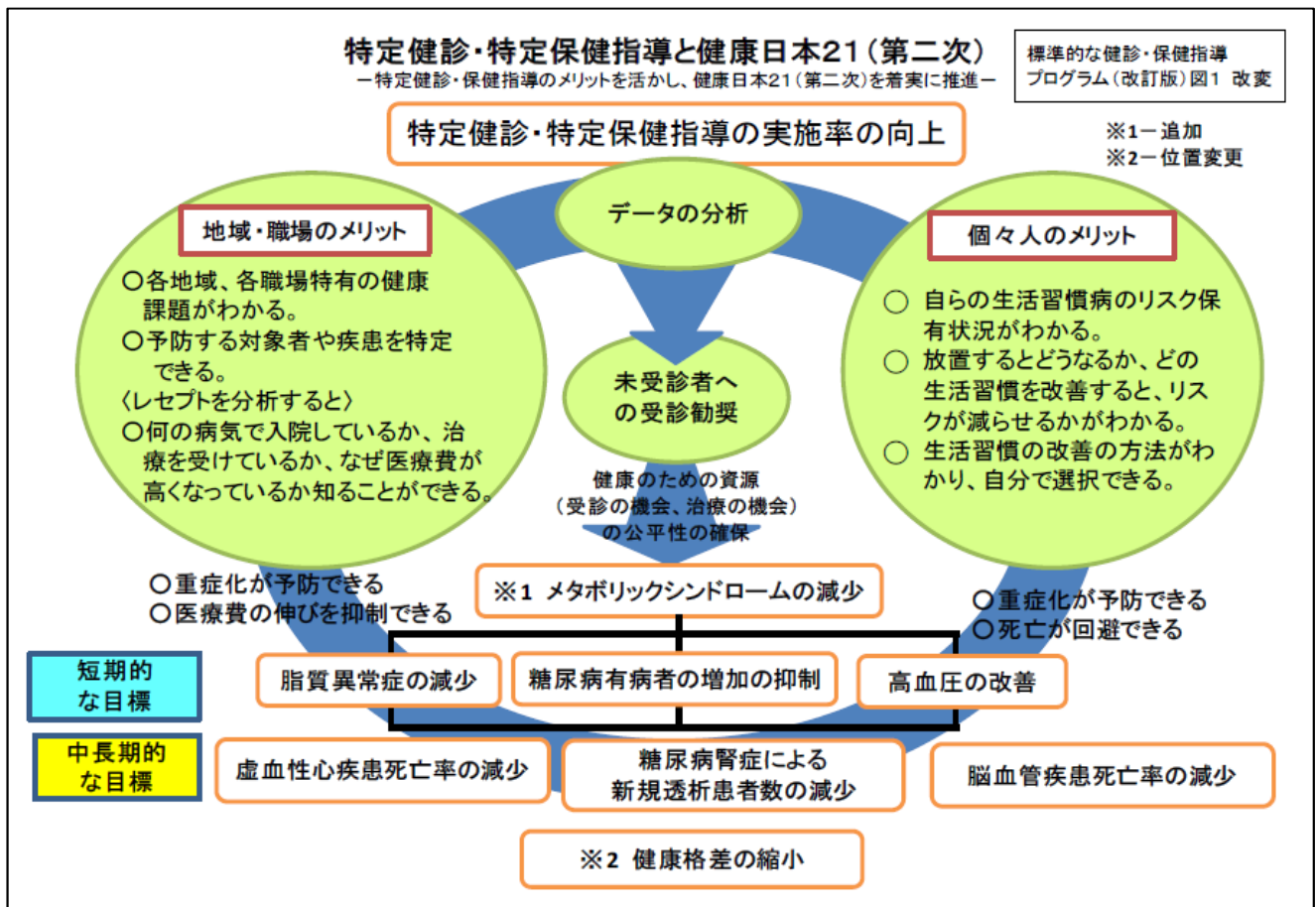
保健事業実施計画(データヘルス計画)とは、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画です。計画の策定に当たっては、特定健康診査の結果、レセプト等のデータを活用し分析を行い、保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づく事業の評価においても健康・医療情報を活用して行います。(図1、図2)

保健事業実施計画(データヘルス計画)は、「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「北海道健康増進計画」及び「北広島市健康づくり計画(第4次)」との整合性を図ります。

なお、「特定健診等実施計画」は保健事業の中核をなす特定健診及び特定保健指導の具体的な実施方法を定めるものであることから、保健事業実施計画(データヘルス計画)と一体的に策定します。

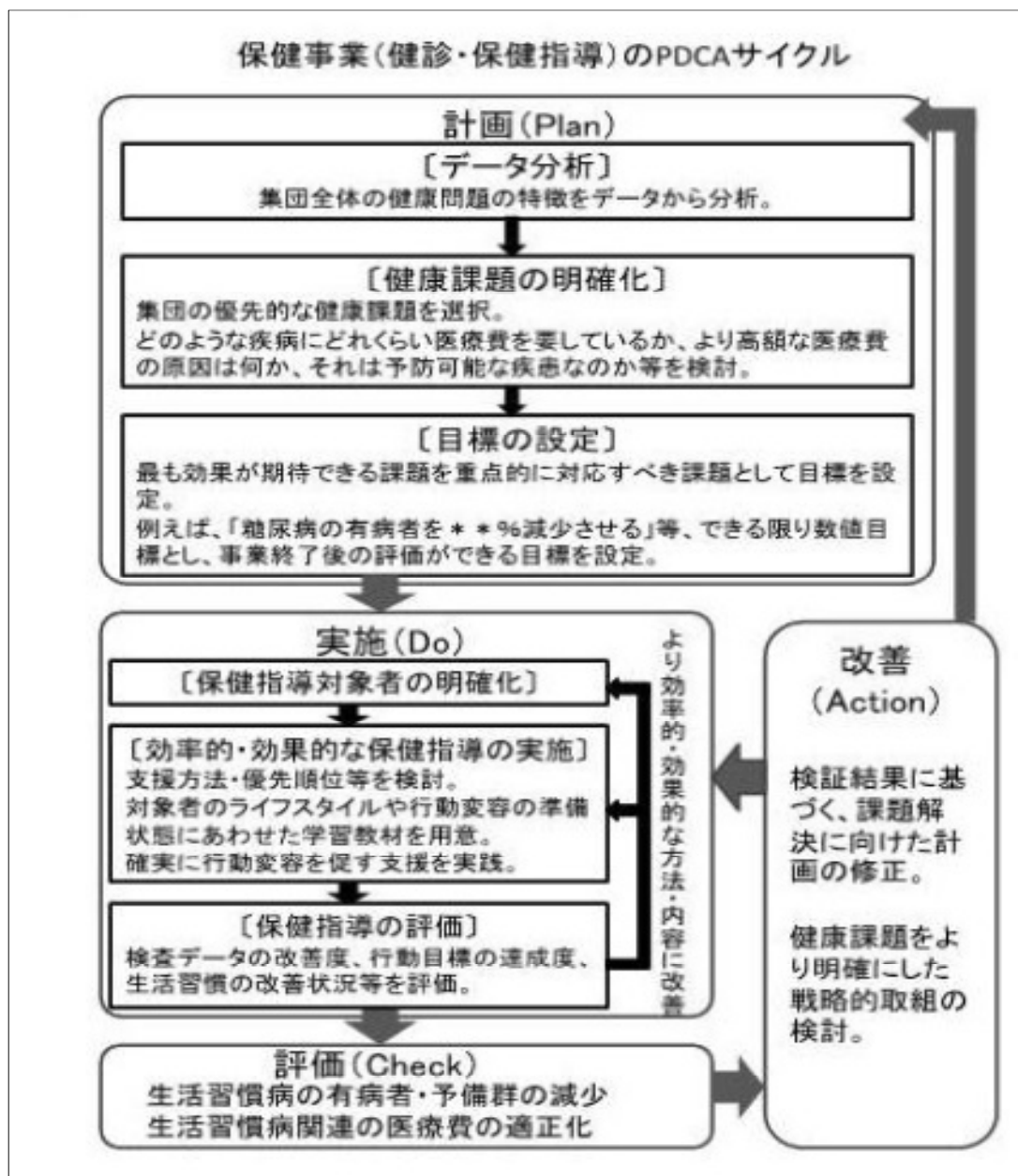
(図3)

(図1)データヘルス計画の位置づけ



厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)図1改変」より

(図2) 保健事業(健診・保健指導)のPDCAサイクル



厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム(改定版)図3」より

### 3 計画期間

計画期間については、関係する計画との整合性を図るため、保健事業実施指針第4の5において「特定健診等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とする」としていることを踏まえ、平成27年度から北広島市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画の最終年度である平成29年度までとします。

(図3) データヘルス計画の位置づけ

	「北広島市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画」	「データヘルス計画」	健康づくり計画 「健康さたひる21」(第4次)																			
根拠となる法律	高齢者の医療の確保に関する法律第19条	国民健康保険法第82条	健康増進法 第8条、9条																			
計画策定者	北広島市国民健康保険(保険者)		北広島市																			
基本的な考え方	生活習慣の改善による糖尿病等の生活習慣病の予防対策を進め、糖尿病等を予防することができれば、通院患者を減らすことができ、この結果、国民の生活の質の維持及び向上を図りながら医療費の伸びの抑制を実現することが可能となります。 特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする者を、的確に抽出するために行うものです。	生活習慣病対策をはじめとして、加入者の自主的な健康増進及び疾病予防の取組みについて、保険者がその支援の中心となって、加入者の特性を踏まえた効果的かつ効率的な保健事業を展開することを目指すものです。 加入者の健康の保持増進により、医療費の適正化及び保険者の財政基盤強化が図られることは保険者自身にとっても重要です。	健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に向けて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を図るとともに、社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上を目指し、これらの目標達成のために、生活習慣の改善及び社会環境の整備に取り組むことを目標とします。																			
対象年齢	40歳～74歳	被保険者全員	ライフステージ(妊産婦期、幼・少年期、青年期、壮年期、高齢期)																			
計画期間	平成25年度～平成29年度	平成27年度～平成29年度	平成27年度～平成32年度																			
対象疾病	メタボリックシンドローム 肥満 糖尿病 高血圧 脂質異常症 虚血性心疾患 脳血管疾患 糖尿病性腎症	メタボリックシンドローム 肥満 糖尿病 高血圧 脂質異常症 慢性閉塞性肺疾患(COPD) がん 虚血性心疾患 脳血管疾患 糖尿病性腎症	メタボリックシンドローム 肥満 糖尿病 高血圧 脂質異常症 慢性閉塞性肺疾患(COPD) がん ロコモティブシンドローム 認知症 メンタルヘルス 虚血性心疾患 脳血管疾患 糖尿病性腎症																			
目標	目標値 第2期(平成29年度) <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療保険者</th> <th>特定健診</th> <th>特定保健指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北広島市</td> <td>60%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">参考</td> <td>全体</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>健康保険組合</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>共済組合</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>国保組合</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>全国健康保険協会</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>市町村国保</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table>	医療保険者	特定健診	特定保健指導	北広島市	60%	60%	参考	全体	70%	健康保険組合	90%	共済組合	90%	国保組合	70%	全国健康保険協会	65%	市町村国保	60%	健康・医療情報を活用しPDCAサイクルに沿った事業運営保険者、被保険者等ごとに分析します。 生活習慣の状況 健康状態 医療機関への受診状況 医療費の状況等 ・性別、年齢階級別、疾病別の分析ほか、経年的な変化、他の保険者との比較等 分析結果に基づき (1)直ちに取り組むべき健康課題 (2)中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値を設定します。	健康寿命の延伸に関する目標指標 生活習慣病の予防と重症化予防の徹底に関する目標指標 (1)がん(2)循環器疾患 (3)糖尿病 社会生活を営むために、必要な機能の維持及び向上に関する目標指標 (1)次世代の健康 (2)高齢者の健康 生活習慣および社会環境の改善に関する目標指標 (1)栄養・食事(2)身体活動・運動(3)休養・こころの健康 (4)飲酒(5)喫煙(6)歯・口腔の健康
医療保険者	特定健診	特定保健指導																				
北広島市	60%	60%																				
参考	全体	70%																				
	健康保険組合	90%																				
	共済組合	90%																				
	国保組合	70%																				
	全国健康保険協会	65%																				
	市町村国保	60%																				
評価	特定健診受診率 特定保健指導実施率	健診・医療情報を活用して、費用対効果の観点も考慮しつつ行います。 (1)生活習慣の状況 食生活 日常生活における歩数 アルコール摂取量 喫煙 (2)健康診査等の受診率 特定健診率 特定保健指導率 健診結果の変化 生活習慣病の有病者・予備群 (3)医療費等 医療費 介護費	平均寿命以前の要介護認定率の減少 がんによる死亡率の減少*標準化死亡比(SMR)の低下 がん検診受診率の向上 脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率の減少 高血圧症の減少、脂質異常症の減少 メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の減少 特定健診受診率・特定保健指導の実施率の向上 治療中の血糖コントロール不良者の減少 糖尿病有病者の増加抑制 いつも朝食をとる子どもの増加 低出生体重児出生数の減少 新規介護認定者の増加の抑制 妊娠届出時のやせの減少 肥満者の減少 主食、主菜、副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の者の増加 運動習慣者の増加 睡眠による休養を十分に取れていない者の減少 ストレスを「誰にも相談できない・しない」者の減少 ストレスの「相談先がわからない」者の減少 自殺者の減少 ①妊娠中の飲酒をなくす ②生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少 ③成人の喫煙率の減少 ④妊娠届出時の喫煙率の減少 ⑤幼児のう歯の減少 ⑥学齢期のう歯の減少 ⑦60歳代で24本以上の自分の歯を有する者の増加																			

## 4 北広島市の特性把握

### (1)基本情報

本市の平成25年度末人口は、59,717人です。高齢化率(65歳以上)は26.1%、北海道27.0%と比較すると約0.97倍、国23.2%と比較すると約1.13倍です。

国民健康保険被保険者数は15,017人で、市の人口に占める国保加入率は25.1%と同規模、道、国と比較して 低いですが、65～74歳の加入割合が42.7%と高い(道の平均加入率35.8%)です。今後、さらに高齢化が進むことから医療費の増大が懸念され、予防可能な生活習慣病の発症と重症化予防への対策が急務です。

(表1)人口構成概要(平成25年度末)

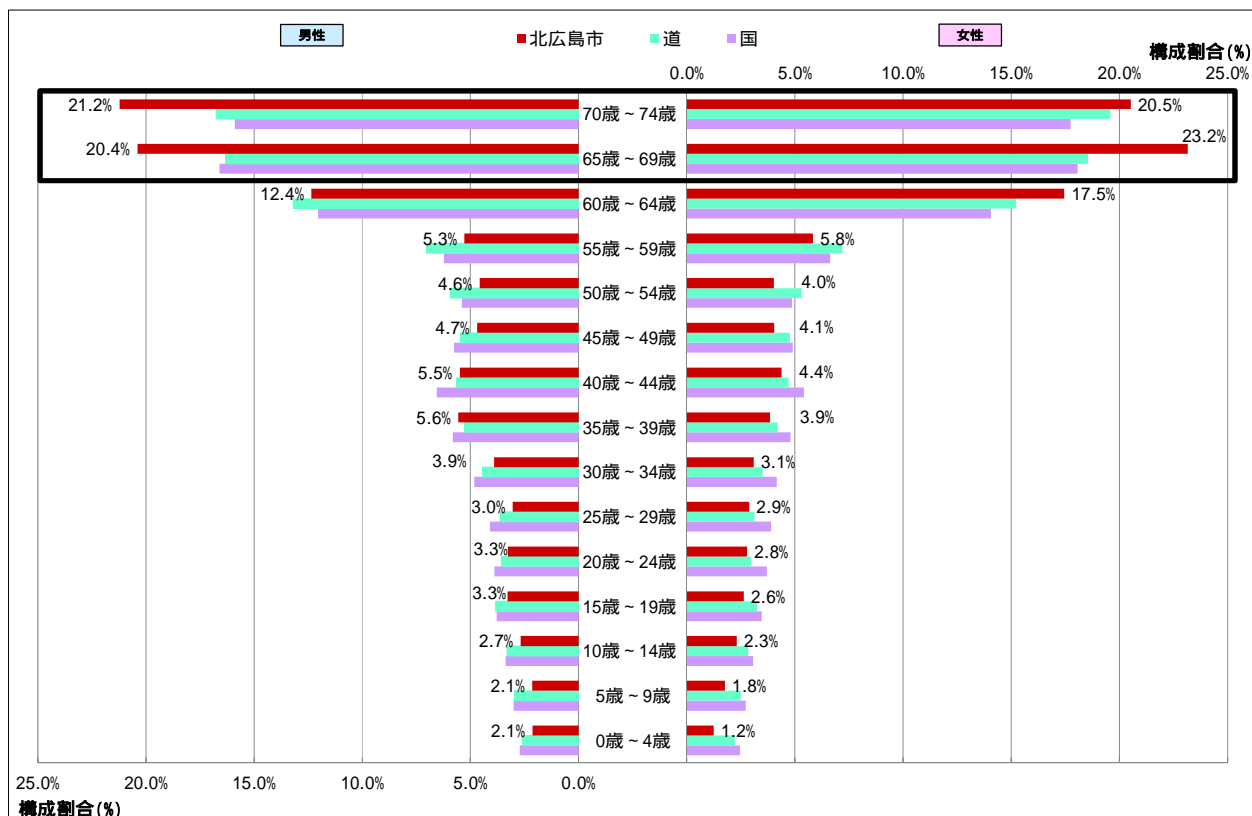
	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
北広島市	59,717	26.1%	15,017	25.1%	53.8	5.5%	8.2%
道	5,463,045	27.0%	1,424,780	26.1%	51.1	7.1%	10.7%
同規模	69,016	24.3%	19,251	27.9%	51.1	8.3%	10.1%
国	126,939,382	23.2%	36,927,094	29.1%	49.8	8.2%	10.0%

「道」は北海道を指す。以下全ての表において同様である。

住民基本台帳、国民健康保険年報、石狩地域保健情報年報、国保データベース(KDB)システムより

「同規模」は全国の人口規模5～10万人の団体の平均値であり、国保データベース(KDB)システムより抽出している。

(図4)男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド(平成25年度)



国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」より

## (2)医療費等の状況

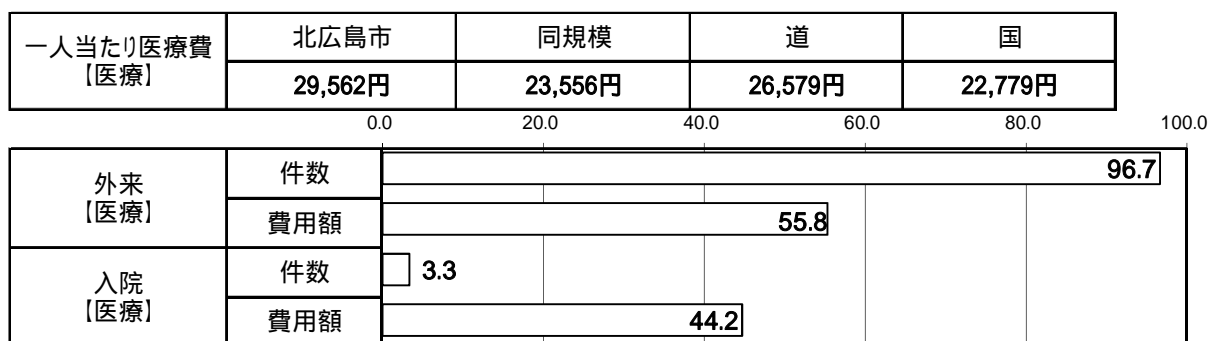
以下は本市の医療基礎情報です。

(表2) 医療基礎情報(平成25年度)

医療項目	北広島市	道	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.3	0.3	0.3	0.3
診療所数	2.2	2.0	2.5	3.2
病床数	45.1	56.4	46.1	50.6
医師数	4.2	5.7	6.6	7.8
外来患者数	672.9	627.8	650.1	638.7
入院患者数	23.7	22.5	19.0	18.0
受診率	696.7	650.2	669.1	656.8
一件当たり医療費(円)	41,830	40,410	34,930	34,430
一般(円)	41,320	40,170	34,850	34,300
退職(円)	47,030	44,620	36,060	36,620
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	55.8%	55.3%	59.0%	59.5%
外来受診率	672.9	627.8	650.1	638.7
一件当たり医療費(円)	24,170	23,140	21,250	21,060
一人当たり医療費(円)	16,270	14,530	13,820	13,450
一日当たり医療費(円)	15,880	15,440	13,070	12,880
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	44.2%	44.7%	40.9%	40.5%
入院率	23.7	22.5	19.0	18.0
一件当たり医療費(円)	53,551	522,960	502,170	508,190
一人当たり医療費(円)	12,870	11,750	9,560	9,170
一日当たり医療費(円)	34,664	32,650	30,570	31,720
一件当たり在院日数	15.4	16.0	16.4	16.0

国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」、「国保のしおり」より

(図5) 医療費の状況(平成25年度)



国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

北広島市の一人当たり医療費は29,562円で、国、道よりも高く、同規模と比べても約6,000円高いです。

入院はわずか3.3%の件数で、費用全体の44.2%を占めていることから、入院1件あたりの費用額は外来と比較すると高額になります。重症化を予防することは入院医療費を減少させ、費用対効果が期待できます。

### (3)特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

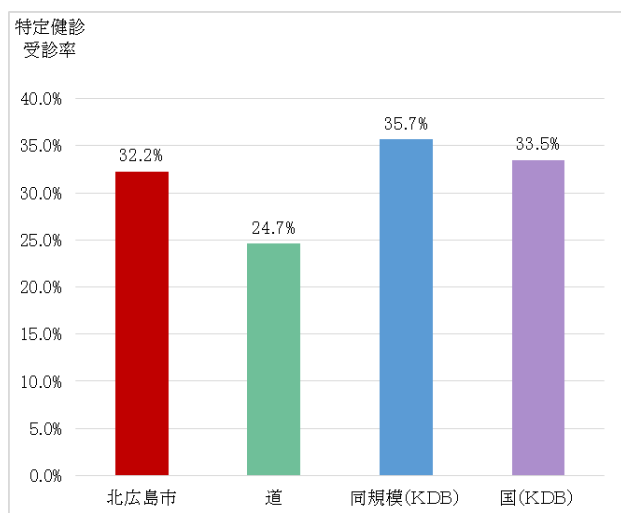
以下は本市の平成25年度における、40～74歳の特定健康診査・特定保健指導の受診率です。

(表3) 特定健康診査受診状況 (平成25年度末)

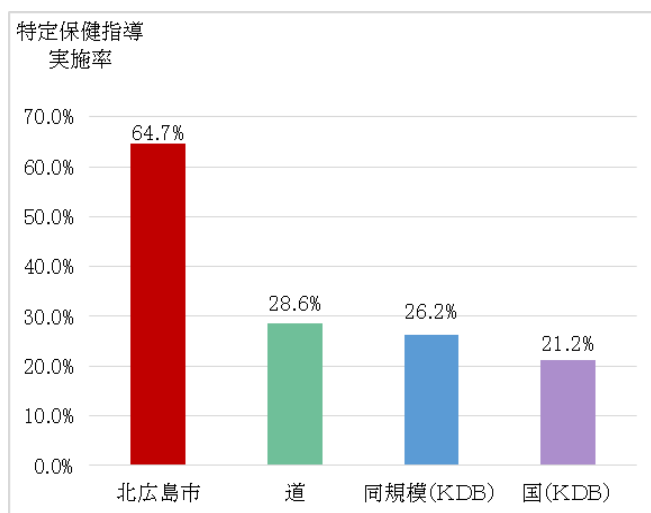
	特定健診受診率	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者割合	特定保健指導実施率
北広島市	32.2%	7.1%	1.7%	8.9%	64.7%
道	24.7%	8.7%	3.4%	12.1%	28.6%
同規模(KDB)	35.7%	9.0%	3.4%	12.3%	26.2%
国(KDB)	33.5%	8.8%	3.6%	12.4%	21.2%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
北広島市と道は、法定報告値  
特定健診等支援システム「特定健診・特定保健指導実施結果報告」と国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

(図6) 特定健康診査受診率(平成25年度)



(図7) 特定保健指導実施率(平成25年度)



特定健診等支援システム「特定健診・特定保健指導実施結果報告」と国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

平成25年度の北広島市における特定健康 診査・特定保健指導は、受診率32.2%で道よりは高いが同規模、国より低いです。保健指導率は64.7%で、同規模、道、国より高いです。

#### (4)介護保険の状況

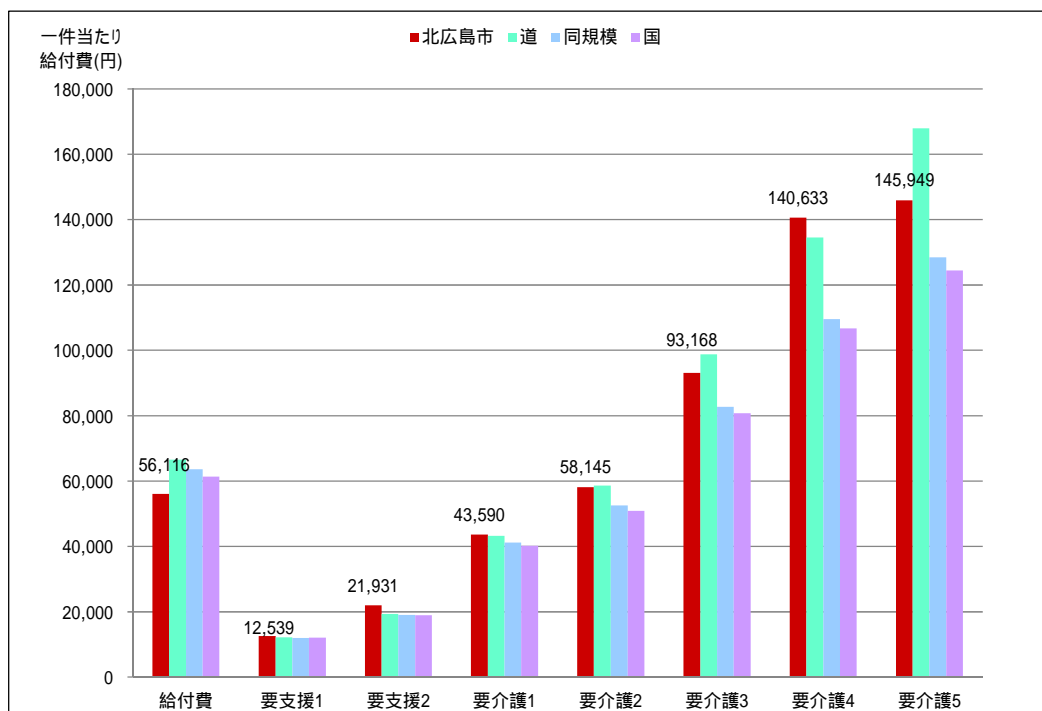
以下は本市の介護保険認定率及び給付費等の状況です。

(表4) 介護保険認定率及び給付費等の状況(平成25年度)

区分	北広島市	道	同規模	国
認定率	18.4%	19.0%	18.9%	17.8%
認定者数(人)	2,952	287,183	830,478	5,838,004
第1号	2,866	280,577	806,584	5,691,190
第2号	86	6,606	23,894	146,814
一件当たり給付費(円)				
給付費	56,116	66,593	63,697	61,370
要支援1	12,539	12,236	12,012	12,048
要支援2	21,931	19,324	19,011	18,933
要介護1	43,590	43,243	41,148	40,208
要介護2	58,145	58,594	52,561	50,915
要介護3	93,168	98,800	82,691	80,735
要介護4	140,633	134,500	109,545	106,719
要介護5	145,949	167,929	128,518	124,403

「認定率」は第1号被保険者に対する割合(法定報告)、他は国保データベース(KDB)システムより

(図8) レセプト一件当たり要介護度別給付費(平成25年度)



国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

北広島市の介護保険の認定率は、1号被保険者は、国、道、同規模と同等です。介護給付費は国、道、同規模に比べて低いです。

以下は要介護認定者の疾病別有病率です。

疾病毎の有病者数を合計すると、9,697人となり、認定者数3,049人の約3.2倍です。

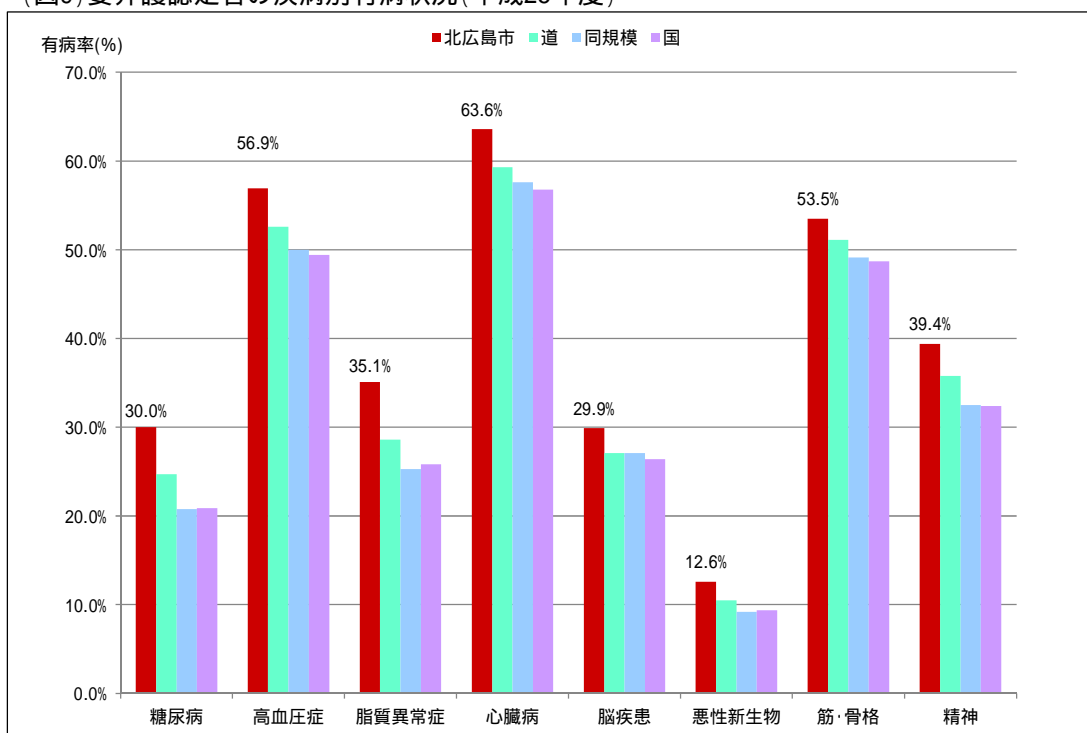
認定者一人当たり、3.2種類の疾病を併発していることがわかります。

(表5) 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況(平成25年度) 各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	北広島市	順位	道	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	3,049		180,294		830,478		4,672,405	
糖尿病	実人数(人)	883	44,634	159,282	910,943			
	有病率	30.0%	24.7%	20.8%	20.9%			
高血圧症	実人数(人)	1,703	94,706	382,108	2,143,733			
	有病率	56.9%	52.6%	50.0%	49.4%			
脂質異常症	実人数(人)	1,068	52,217	195,920	1,136,250			
	有病率	35.1%	28.6%	25.3%	25.8%			
心臓病	実人数(人)	1,916	106,631	438,799	2,457,985			
	有病率	63.6%	59.3%	57.6%	56.8%			
脳疾患	実人数(人)	903	48,133	204,277	1,129,256			
	有病率	29.9%	27.1%	27.1%	26.4%			
悪性新生物	実人数(人)	384	19,035	70,887	411,598			
	有病率	12.6%	10.5%	9.2%	9.4%			
筋・骨格	実人数(人)	1,638	92,267	374,973	2,113,256			
	有病率	53.5%	51.1%	49.1%	48.7%			
精神	実人数(人)	1,202	64,803	250,656	1,415,559			
	有病率	39.4%	35.8%	32.5%	32.4%			

国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

(図9) 要介護認定者の疾病別有病状況(平成25年度)



国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

### (5)死因の状況

以下は本市の主たる死因とその割合です。

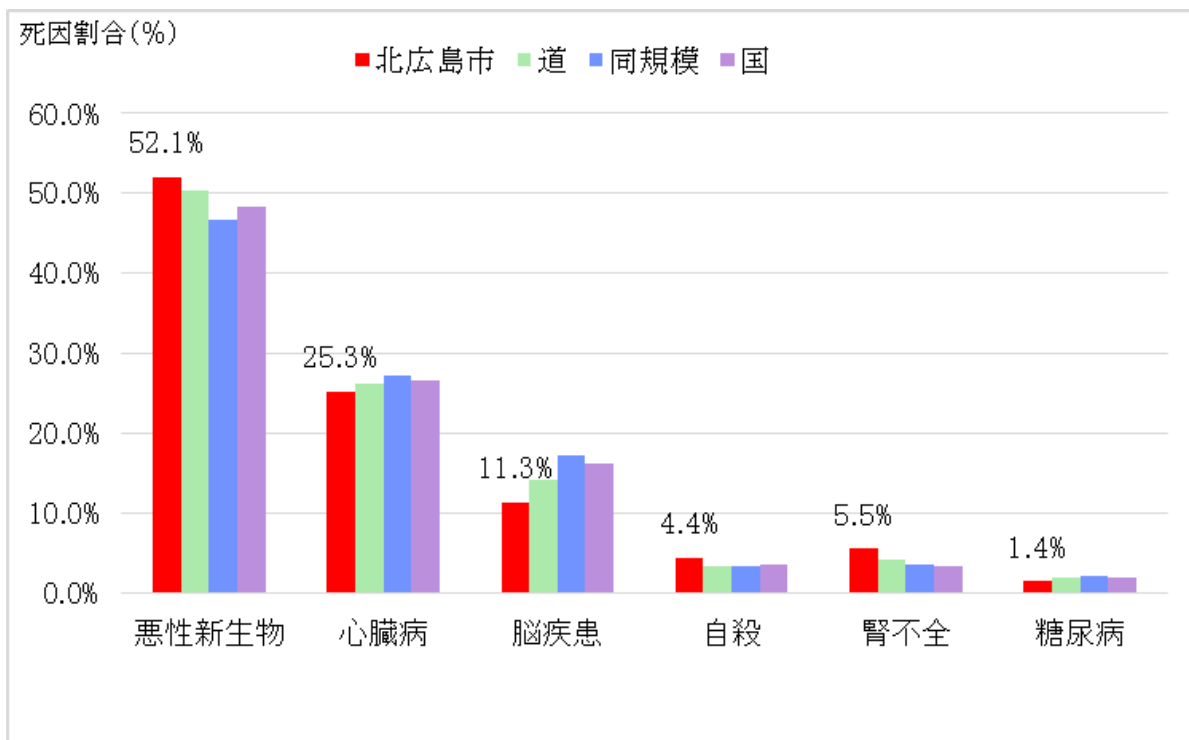
(表6)主たる死因とその割合(平成24年度)

疾病項目	人数(人)	北広島市	道	同規模	国
悪性新生物	153	52.1%	50.3%	46.7%	48.3%
心臓病	74	25.3%	26.2%	27.2%	26.6%
脳疾患	33	11.3%	14.1%	17.2%	16.3%
自殺	13	4.4%	3.3%	3.4%	3.5%
腎不全	16	5.5%	4.2%	3.5%	3.4%
糖尿病	4	1.4%	1.9%	2.0%	1.9%
合計	293				

千歳保健所(石狩振興局)データより

生活習慣病等にかかる死因に限定した数値であり、死亡数の総数とは一致しない。

(図10)主たる死因とその割合(平成24年度)



千歳保健所(石狩振興局)データより

(表7)(参考)石狩地域保健情報年報(平成24年度)

	全死亡数に対する 65歳未満死亡率(%)		うち					
	男性	女性	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
北広島市	16.7%	9.7%	17.9%	24.1%	12.2%	0.0%	15.4%	5.0%
国	17.3%	9.0%	18.5%	18.7%	16.5%	4.0%	14.4%	5.7%
道	17.7%	10.0%	19.2%	18.9%	17.4%	4.6%	13.4%	7.4%

(表8) (参考)北広島市の特徴を把握する(平成26年度)

項目		北広島市		道		同規模		国			
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合		
1 全体像	人口構成	総人口	60,203		5,475,176		18,440,844		124,852,975		
		65歳以上(高齢化率)	13,539	22.5	1,356,131	24.8	4,468,986	24.2	29,020,766	23.2	
		75歳以上	6,008	10.0	669,235	12.2			13,989,864	11.2	
		65～74歳	7,531	12.5	686,896	12.5			15,030,902	12.0	
		40～64歳	22,092	36.7	1,932,595	35.3			42,411,922	34.0	
	39歳以下	24,572	40.8	2,186,450	39.9			53,420,287	42.8		
	産業構成	第1次産業	2.4		7.7		6.2		4.2		
		第2次産業	18.0		18.1		28.9		25.2		
		第3次産業	79.7		74.2		64.9		70.6		
	平均寿命	男性	80.0		79.2		79.6		79.6		
女性		87.3		86.3		86.3		86.4			
健康寿命	男性	65.4		64.9		65.2		65.2			
	女性	67.4		66.6		66.8		66.8			
2 死亡	死亡の状況	標準化死亡率比(SMR)	85.1		101.0		100.2		100		
		男性	89.7		97.6		101.1		100		
		女性									
	死因	がん	153	52.2	18,138	50.3	54,228	46.7	360,744	48.3	
		心臓病	74	25.3	9,464	26.2	31,583	27.2	198,622	26.6	
		脳疾患	33	11.3	5,082	14.1	20,030	17.2	121,486	16.3	
		糖尿病	4	1.4	694	1.9	2,340	2.0	14,474	1.9	
		腎不全	16	5.5	1,498	4.2	4,019	3.5	25,089	3.4	
		自殺	13	4.4	1,206	3.3	3,942	3.4	26,250	3.5	
	早世予防からみた死亡(65歳未満)	合計									
男性											
3 介護	介護保険	1号認定者数(認定率)	3,040	22.0	182,098	20.4	860,333	19.3	5,178,997	20.0	
		新規認定者	54	0.3	3,132	0.3	17,499	0.3	136,600	0.3	
		2号認定者	91	0.4	4,723	0.4	23,356	0.4	145,883	0.4	
	有病状況	糖尿病	989	30.7	47,283	24.9	180,064	19.7	1,089,285	20.3	
		高血圧症	1,810	57.3	99,232	52.7	429,786	47.3	2,551,660	47.9	
		脂質異常症	1,118	35.8	56,146	29.3	224,805	24.5	1,386,541	25.7	
		心臓病	2,008	64.2	111,016	59.1	491,660	54.3	2,914,608	54.8	
		脳疾患	890	29.2	48,898	26.3	223,901	25.0	1,324,669	25.2	
		がん	445	13.5	20,352	10.7	80,701	8.8	493,808	9.2	
		筋・骨格	1,667	54.5	96,634	51.2	420,178	46.3	2,505,146	47.1	
		精神	1,277	40.3	68,326	36.2	288,192	31.6	1,720,172	32.2	
	介護給付費	1件当たり給付費(全体)	56,017		65,531		63,011		60,773		
		居宅サービス	38,473		40,048		40,897		40,470		
		施設サービス	298,027		289,026		285,860		288,254		
	医療費等	要介護認定別医療費(40歳以上)	10,973		8,852		7,964		7,952		
		認定あり	4,036		4,642		3,807		3,816		
	4 医療	国保の状況	被保険者数	14,626		902,766		4,951,663		32,318,324	
			65～74歳	6,731	46.0	342,202	37.9			11,713,836	36.2
			40～64歳	4,790	32.7	325,528	36.1			11,257,199	34.8
			39歳以下	3,105	21.2	235,036	26.0			9,347,289	28.9
加入率			24.3		27.9		27.1		28.8		
医療の概況(人口千対)		病院数	5	0.3	327	0.4	1277	0.3	7,735	0.2	
		診療所数	34	2.3	1,844	2.0	12,695	2.6	86,914	2.7	
		病床数	682	46.6	52,750	58.4	233,266	47.1	1,422,951	44.0	
		医師数	63	4.3	5,334	5.9	33,513	6.8	256,703	7.9	
		外来患者数	685.0		632.7		662.5		652.3		
入院患者数		23.7		22.4		19.2		18.1			
医療費の状況		一人当たり医療費(月)	29,464		道内55位 同規模22位	26,642		24,081		23,292	
		受診率	708.691		655.121		681.665		670.435		
		外来	費用の割合	55.3		55.4		59.3		59.7	
			件数の割合	96.7		96.6		97.2		97.3	
		入院	費用の割合	44.7		44.6		40.7		40.3	
			件数の割合	3.3		3.4		2.8		2.7	
		1件あたり在院日数	15.8日		15.9日		16.4日		15.9日		
医療費分析 生活習慣病に占める割合 最大医療資源傷病名(調剤含む)		がん	810,240,740	28.5	25.1	22.4	23.0				
		慢性腎不全(透析あり)	118,625,940	4.2	7.1	9.4	9.5				
	糖尿病	268,320,380	9.4	9.5	10.0	9.8					
	高血圧症	257,802,090	9.1	9.8	10.4	10.2					
	精神	420,752,590	14.8	15.9	17.7	17.0					
筋・骨格	412,096,390	14.5	16.8	14.7	15.0						

国保データベース(KDB)システムより

1.全体像 人口構成 産業構成 平均寿命 健康寿命 2.死亡 死亡の状況は平成22年国勢調査及び平成15年～平成19年厚生労働省統計による。

(表9) (参考)北広島市の特徴を把握する(平成26年度)

4 医療	費用額 (1件当たり)	入院 道内順位 順位総数181	糖尿病	581,299	72位	(16)						
			高血圧	638,382	63位	(16)						
			脂質異常症	598,335	50位	(15)						
			脳血管疾患	660,779	72位	(20)						
			心疾患	695,815	79位	(13)						
			腎不全	794,021	63位	(19)						
			精神	529,208	29位	(23)						
			悪性新生物	665,899	59位	(15)						
			入院の( )内は 在院日数	外来	糖尿病	33,324	148位					
					高血圧	30,090	121位					
					脂質異常症	28,937	107位					
					脳血管疾患	33,598	120位					
心疾患	36,934	133位										
腎不全	137,277	116位										
精神	29,881	87位										
		悪性新生物	50,983	91位								
健診有無別 一人当たり 点数		健診対象者 一人当たり	2,100		1,701		2,385		2,113			
		健診未受診者	13,817		14,148		12,024		12,072			
		生活習慣病対象者 一人当たり	6,161		4,956		6,583		6,025			
		健診未受診者	40,540		41,221		33,191		34,432			
健診・レセ 突合		受診勧奨者	1,941	53.5	92,555	56.9	690,682	56.0	3,998,969	56.5		
		医療機関受診率	1,825	50.3	84,494	51.9	629,577	51.1	3,599,147	50.8		
		医療機関非受診率	116	3.2	8,061	5.0	61,105	5.0	399,822	5.6		
5 健診	特定健診の 状況 道内順位 順位総数181	健診受診者	3,626		162,764		1,233,035		7,078,104			
		受診率	34.6	県内73位 同規模174位	27.0	全国42位	36.4		33.2			
		特定保健指導終了者(実施率)	0	0.0	864	4.3	7167	4.8	32,720	3.9		
		非肥満高血糖	213	5.9	12,745	7.8	117,473	9.5	647,323	9.1		
		メタボ	該当者	587	16.2	26,556	16.3	203,284	16.5	1,168,365	16.5	
			男性	389	25.3	18,062	26.3	136,841	25.8	796,026	26.0	
			女性	198	9.5	8,494	9.0	66,443	9.5	372,339	9.3	
			予備群	422	11.6	17,698	10.9	131,909	10.7	756,989	10.7	
		メタボ該当・予備群 レベル	男性	284	18.5	12,319	18.0	90,002	17.0	521,582	17.0	
			女性	138	6.6	5,379	5.7	41,907	6.0	235,407	5.9	
		メタボ該当・予備群 レベル	総数	1,149	31.7	50,183	30.8	377,161	30.6	2,170,195	30.7	
			男性	770	50.1	34,470	50.3	254,379	47.9	1,480,258	48.3	
		メタボ該当・予備群 レベル	女性	379	18.1	15,713	16.7	122,782	17.5	689,937	17.2	
			総数	149	4.1	11,328	7.0	59,291	4.8	337,401	4.8	
		メタボ該当・予備群 レベル	男性	25	1.6	1887	2.8	9,229	1.7	56,020	1.8	
			女性	124	5.9	9,441	10.0	50,062	7.1	281,381	7.0	
		メタボ該当・予備群 レベル	血糖のみ	19	0.5	927	0.6	8,161	0.7	45,167	0.6	
血圧のみ	294		8.1	12,256	7.5	91,195	7.4	526,687	7.4			
メタボ該当・予備群 レベル	脂質のみ	109	3.0	4,515	2.8	32,553	2.6	185,135	2.6			
	血糖・血圧	73	2.0	4,038	2.5	31,704	2.6	181,386	2.6			
メタボ該当・予備群 レベル	血糖・脂質	26	0.7	1,422	0.9	11,275	0.9	62,401	0.9			
	血圧・脂質	309	8.5	13,361	8.2	100,825	8.2	583,307	8.2			
メタボ該当・予備群 レベル	血糖・血圧・脂質	179	4.9	7,735	4.8	59,480	4.8	341,271	4.8			
	高血圧	1,334	36.8	54,288	33.4	414,288	33.6	2,366,633	33.4			
6 生活習慣	生活習慣の 状況	糖尿病	307	8.5	11,794	7.2	87,872	7.1	497,291	7.0		
		脂質異常症	1,076	29.7	38,725	23.8	277,957	22.5	1,595,503	22.5		
		脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	138	4.4	5,324	3.4	38,372	3.2	223,846	3.3		
		心臓病(狭心症・心筋梗塞等)	274	8.6	8,963	5.8	67,831	5.7	379,754	5.6		
		腎不全	108	3.4	731	0.5	8,959	0.8	38,127	0.6		
		貧血	360	11.4	14,014	9.0	115,671	9.8	671,658	10.0		
		喫煙	476	13.1	28,297	17.4	162,862	13.2	998,139	14.1		
		週3回以上朝食を抜く	194	6.7	15,245	10.0	70,919	6.9	476,580	7.9		
		週3回以上食後間食	421	14.5	24,233	15.9	114,242	11.0	693,367	11.6		
		週3回以上就寝前夕食	334	11.5	23,050	15.2	157,384	15.0	953,289	15.8		
		食べる速度が速い	751	25.9	42,188	27.7	258,769	25.0	1,546,021	25.8		
		20歳時体重から10kg以上増加	896	31.0	51,243	33.5	325,768	31.1	1,917,343	31.7		
1回30分以上運動習慣なし	1,692	58.6	94,900	62.1	617,974	58.5	3,557,410	58.7				
1日1時間以上運動なし	1,818	63.0	78,238	51.4	459,218	43.5	2,791,846	46.1				
睡眠不足	576	19.9	33,869	22.2	244,583	23.3	1,440,928	24.0				
毎日飲酒	603	20.8	33,819	22.0	285,868	24.6	1,682,478	25.7				
時々飲酒	775	26.8	38,922	25.3	241,787	20.8	1,415,168	21.6				
一日 飲酒 量	1合未満	1,528	68.1	57,794	58.2	476,764	64.7	2,926,851	64.6			
	1～2合	475	21.2	26,314	26.5	175,344	23.8	1,067,520	23.6			
	2～3合	191	8.5	11,900	12.0	67,338	9.1	414,219	9.1			
	3合以上	49	2.2	3,377	3.4	17,802	2.4	118,864	2.6			

国保データベース(KDB)システム より

## 5 過去の取組みの考察

### (1) 特定健康診査・特定保健指導の導入

平成18年の医療制度改革において、「高齢者の医療の確保に関する法律」の改定に伴い、平成20年度から医療保険者にその実施を義務付ける特定健康診査・特定保健指導の仕組みが導入されました。

同法第18条に規定する基本指針に基づき、「北広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画」を策定し、被保険者に対し、生活習慣病の発症に大きく関与するとされるメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施しています。

また、国の「今後の特定健診・保健指導の在り方について」で示された受診勧奨などを含む非肥満者への保健指導の対応を踏まえ、科学的根拠に基づいて重症化予防の視点での保健指導にも取り組んでいます。

### (2) 実施状況

(表10) 健診受診率の向上方策

No	今までの取組み	課題	対応状況
1	受診券の個別送付(平成20年度～)	受診率60%(目標値)には達していません。	継続
2	前年度受診者等へ電話勧奨(平成21年度・平成24年度)	勧奨中、話しを聞き流されていることも多く、電話勧奨の対象者のうち、3割は不在等の理由で本人に直接勧奨が行っていません。	勧奨方法の検討を要する
3	50代未受診者にハガキ勧奨	平成22年度の50～54歳健診受診率は全体の15.2%で55～59歳が19%です。	勧奨方法の検討を要する
4	治療時の検査データの受領により、定期健診を受診したとみなす制度を導入(平成23年度～)	受領数は徐々に増えているが、本制度に対応できない医療機関もあります。	継続
5	町内会単位の受診率の周知、定期的なチラシの回覧、文書による受診勧奨(平成24年度～)	新規健診受診・継続受診率が低いです。	継続
6	国保30歳代健診の導入(平成25年度～)	受診率が10%前後と低く、より若い世代から、健診の重要性を周知する必要があります。	継続
7	国の基準該当者の他、希望者にも眼底検査を導入(平成26年度～)	血管の状態を検査できる眼底検査の重要性を周知する必要があります。	継続

(表11) 保健指導実施率の向上方策及びメタボリックシンドロームの減少方策

No	今までの取組み	課題	対応状況
1	郵送による保健指導の案内後、連絡のない人へは電話勧奨や受診状況等の確認(平成20年度～)	電話勧奨は、その場で保健指導を希望されない人が多いです。受診状況は、本人の治療中断等が確認できるため、保健指導を実施する上で必要です。	継続
2	希望者に保健指導を行う「健診結果説明会」を実施(平成21年度～)	自らが、保健指導を希望する対象者が減少傾向にあるため、指導の有効性の周知が必要です。	継続
3	特定保健指導の対象とならない受診勧奨などを含む非肥満者への保健指導を一部実施(平成22年度～)	血圧値では重症者の割合が減少していますが、国の目標でもある糖尿病有病者割合は増加しています。増加が続けば、糖尿病性腎症や虚血症心疾患・脳血管疾患の増加につながります。	継続
4	健診結果のリスクに応じて家庭訪問による結果説明を実施(平成24年度～)	メタボリックシンドローム該当者、予備群で変化なしまたは悪化の割合が約40%でその約40%は翌年度未受診です。	継続

### (3)関係部署が実施する保健事業との関連

上記の保健事業以外にも、健康づくりのための取組みを実施しており、これらの取組みと連携し、効果的に保健事業を実施していくことが重要となります。特定健康診査・特定保健指導と健康づくり関連施策の連携を図ります。

# 健康・医療情報の分析及び分析結果に基づく健康課題の把握

## 1 医療費状況の把握

### (1)基礎統計

当医療費統計は、北広島市国民健康保険における、平成26年9月～平成27年2月診療分の6か月分の医科・調剤レセプトを対象とし分析します。

被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は、以下の通りです。被保険者数は月間平均14,564人、レセプト件数は月間平均17,475件、患者数は月間平均7,250人となりました。また、患者一人当たりの月間平均医療費は59,449円となりました。

(表12)基礎統計

		平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	6か月平均	6か月合計	
A	被保険者数(人)	14,555	14,531	14,478	14,624	14,621	14,576	14,564		
B	レセプト件数(件)	入院外	10,041	10,145	9,628	10,657	9,787	9,671	9,988	59,929
		入院	335	356	352	350	332	328	342	2,053
		調剤	7,145	7,200	6,855	7,728	7,075	6,863	7,144	42,866
		合計	17,521	17,701	16,835	18,735	17,194	16,862	17,475	104,848
C	医療費(円)	440,660,550	440,111,180	420,225,490	457,879,410	430,353,360	396,785,110	431,002,517	2,586,015,100	
D	患者数(人)	7,248	7,298	7,078	7,631	7,167	7,078	7,250	43,500	
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	60,798	60,306	59,371	60,003	60,047	56,059	59,449		
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	30,276	30,288	29,025	31,310	29,434	27,222	29,593		
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	25,150	24,864	24,961	24,440	25,029	23,531	24,664		

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

医療費...医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

患者数...医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

- ・医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料など)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ・傷病管理システム(特許第5203481号) レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報および診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

## (2)高額レセプトの件数及び要因

### 高額レセプトの件数及び割合

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。高額レセプトは、月間平均158件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占めています。高額レセプトの医療費は月間平均1億5,229万円程度となり、医療費全体の35.3%を占めています。

(表13)高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	6か月平均	6か月合計
A	レセプト件数全体(件)	17,521	17,701	16,835	18,735	17,194	16,862	17,475	104,848
B	高額(5万点以上)レセプト件数(件)	160	149	163	174	164	135	158	945
B/A	件数構成比(%)	0.9%	0.8%	1.0%	0.9%	1.0%	0.8%	0.9%	
C	医療費全体(円)	440,660,550	440,111,180	420,225,490	457,879,410	430,353,360	396,785,110	431,002,517	2,586,015,100
D	高額(5万点以上)レセプトの医療費(円)	162,888,390	148,741,640	151,737,720	167,150,560	154,489,540	128,734,760	152,290,435	913,742,610
D/C	金額構成比(%)	37.0%	33.8%	36.1%	36.5%	35.9%	32.4%	35.3%	

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
 医療費全体...データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

### 高額レセプトの年齢階層別統計

以下は高額レセプトの年齢階層別医療費、年齢階層別患者数、年齢階層別レセプト件数です。

(表14) 高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費

年齢階層	入院外(円)	入院(円)	総計(円)	構成比(%)
0歳～4歳	0	0	0	0.0%
5歳～9歳	0	0	0	0.0%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	0	6,028,680	6,028,680	0.7%
20歳～24歳	0	0	0	0.0%
25歳～29歳	0	9,474,380	9,474,380	1.0%
30歳～34歳	0	9,297,050	9,297,050	1.0%
35歳～39歳	23,234,470	8,699,800	31,934,270	3.5%
40歳～44歳	2,313,990	17,751,490	20,065,480	2.2%
45歳～49歳	534,340	22,491,580	23,025,920	2.5%
50歳～54歳	4,311,640	36,355,130	40,666,770	4.5%
55歳～59歳	4,806,830	46,145,410	50,952,240	5.6%
60歳～64歳	12,420,990	148,125,610	160,546,600	17.6%
65歳～69歳	16,244,620	217,791,060	234,035,680	25.6%
70歳～	18,496,100	309,219,440	327,715,540	35.9%
合計	82,362,980	831,379,630	913,742,610	

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

(表15) 高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別患者数

年齢階層	入院外(人)	入院(人)	入院外および入院(人)	構成比(%)
0歳～4歳	0	0	0	0.0%
5歳～9歳	0	0	0	0.0%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	0	2	2	0.4%
20歳～24歳	0	0	0	0.0%
25歳～29歳	0	6	6	1.2%
30歳～34歳	0	7	7	1.4%
35歳～39歳	1	9	10	2.0%
40歳～44歳	1	11	12	2.4%
45歳～49歳	1	16	17	3.4%
50歳～54歳	2	16	18	3.6%
55歳～59歳	3	26	26	5.1%
60歳～64歳	8	81	88	17.4%
65歳～69歳	12	127	135	26.6%
70歳～	17	172	186	36.7%
合計	45	473	507	

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
入院外と入院で重複する患者がいるので総計は一致しない。

(表16)高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別レセプト件数

年齢階層	入院外(件)	入院(件)	入院外および入院(件)	構成比(%)
0歳～4歳	0	0	0	0.0%
5歳～9歳	0	0	0	0.0%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	0	7	7	0.7%
20歳～24歳	0	0	0	0.0%
25歳～29歳	0	12	12	1.3%
30歳～34歳	0	12	12	1.3%
35歳～39歳	6	11	17	1.8%
40歳～44歳	3	19	22	2.3%
45歳～49歳	1	27	28	3.0%
50歳～54歳	7	40	47	5.0%
55歳～59歳	7	46	53	5.6%
60歳～64歳	18	157	175	18.5%
65歳～69歳	21	219	240	25.4%
70歳～	28	304	332	35.1%
合計	91	854	945	

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

#### 高額レセプトの要因となる疾病傾向

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、集計しました。医療費分解後、患者毎に最も医療費がかかっている疾病を特定し、患者一人当たりの医療費が高い順に上位の疾病項目を抽出しました。要因となる疾病は、「貧血」「胃の悪性新生物」「気管、気管支及び肺の悪性新生物」「その他の脳血管疾患」「脳梗塞」等です。

(表17)高額(5万点以上)レセプトの要因となる疾病

中分類名	主要傷病名	患者数(人)	医療費(円)			患者一人当たりの医療費(円)
			入院	入院外	合計	
貧血	貧血、発作性夜間ヘモグロビン尿症、出血性貧血	5	8,735,410	23,926,330	32,661,740	6,532,348
胃の悪性新生物	胃癌、胃体部癌、噴門癌	11	31,863,510	4,594,250	36,457,760	3,314,342
気管、気管支及び肺の悪性新生物	上葉肺癌、下葉肺癌、肺癌	23	63,796,450	11,518,750	75,315,200	3,274,574
その他の脳血管疾患	慢性硬膜下血腫、脳血栓症、中大脳動脈狭窄症	13	38,420,280	1,252,150	39,672,430	3,051,725
脳梗塞	脳梗塞、心原性脳塞栓症、脳幹梗塞	19	56,075,370	1,906,530	57,981,900	3,051,679
結腸の悪性新生物	S状結腸癌、盲腸癌、上行結腸癌	13	31,980,900	7,448,730	39,429,630	3,033,048
その他の心疾患	心房細動、洞不全症候群、心不全	14	35,788,470	3,049,650	38,838,120	2,774,151
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群、壊死性筋膜炎、骨髄炎	11	25,423,390	4,229,830	29,653,220	2,695,747
良性新生物及びその他の新生物	卵巣腫瘍、骨髄異形成症候群、髄膜腫	15	34,474,620	2,517,370	36,991,990	2,466,133
その他の悪性新生物	膝頭部癌、前立腺癌、腎癌	39	67,451,130	23,001,230	90,452,360	2,319,291

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

### (3)疾病別医療費

#### 大分類による疾病別医療費統計

##### ア 北広島市国民健康保険全体

以下の通り、疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の18.0%を占めています。「新生物」は医療費合計の16.7%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の9.1%と高い割合を占めています。次いで「消化器系の疾患」も医療費合計の8.1%を占め、高い水準となっています。

(表18)大分類による疾病別医療費統計

各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円)	構成比 (%)	順位	レセプト 件数	順位	患者数	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
・感染症及び寄生虫症	66,214,200	2.6%	12	7,496	13	2,389	11	27,716	15
・新生物	430,824,892	16.7%	2	8,594	11	2,937	7	146,689	1
・血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	49,587,222	1.9%	13	3,004	16	1,053	15	47,091	7
・内分泌、栄養及び代謝疾患	235,961,386	9.1%	3	36,862	2	5,839	1	40,411	11
・精神及び行動の障害	192,172,675	7.5%	6	11,995	7	1,773	13	108,388	2
・神経系の疾患	119,870,548	4.6%	8	18,711	6	2,863	8	41,869	10
・眼及び付属器の疾患	105,399,750	4.1%	10	10,099	8	3,076	6	34,265	13
・耳及び乳様突起の疾患	23,862,947	0.9%	16	3,882	15	991	16	24,080	17
・循環器系の疾患	464,572,243	18.0%	1	37,592	1	5,650	2	82,225	3
・呼吸器系の疾患	160,974,264	6.2%	7	22,229	5	5,291	4	30,424	14
・消化器系の疾患	208,959,060	8.1%	4	30,844	3	5,513	3	37,903	12
・皮膚及び皮下組織の疾患	46,166,396	1.8%	15	9,658	9	2,624	9	17,594	19
・筋骨格系及び結合組織の疾患	207,205,843	8.0%	5	22,869	4	4,583	5	45,212	9
・腎尿路生殖器系の疾患	113,400,307	4.4%	9	8,859	10	2,474	10	45,837	8
・妊娠、分娩及び産じょく	2,923,415	0.1%	19	110	19	53	19	55,159	5
・周産期に発生した病態	219,990	0.0%	21	11	21	8	21	27,499	16
・先天奇形、変形及び染色体異常	4,068,514	0.2%	18	988	18	264	18	15,411	20
・症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	46,330,204	1.8%	14	7,736	12	2,144	12	21,609	18
・損傷、中毒及びその他の外因の影響	90,971,367	3.5%	11	3,895	14	1,367	14	66,548	4
・健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,703,452	0.3%	17	2,976	17	681	17	11,312	21
・特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,999,185	0.1%	20	108	20	38	20	52,610	6
合計	2,579,387,860	100.0%		104,124		11,460		225,077	

データ化範囲(分析対象)...**医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)**

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患... 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

妊娠、分娩及び産じょく... 乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

周産期に発生した病態... ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

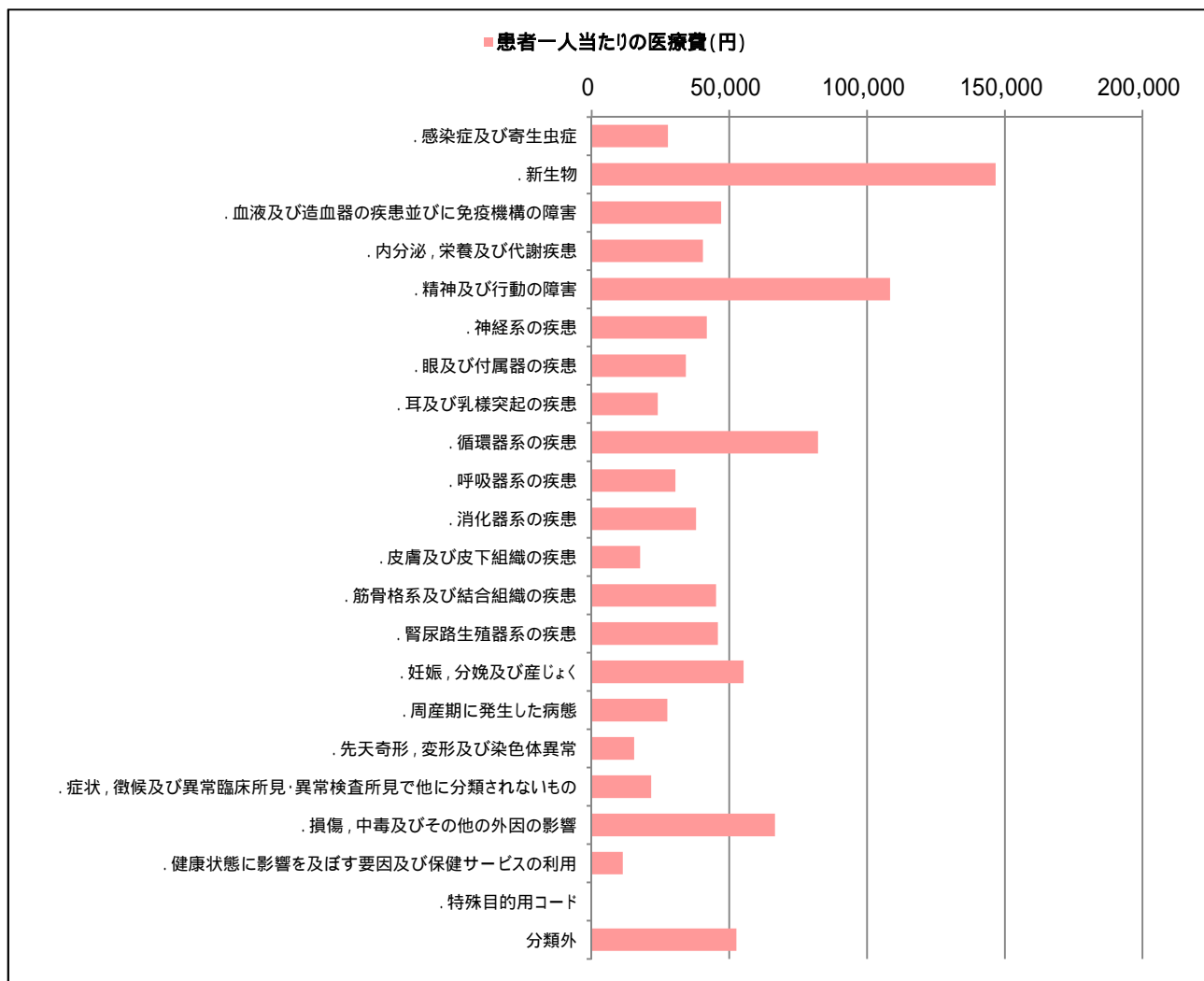
医療費総計... 大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

レセプト件数... 大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

患者数... 大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費は、「新生物」、「精神及び行動の障害」、「循環器系の疾患」が高く、次いで、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」、「妊娠、分娩及び産じょく」、「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」の順となります。

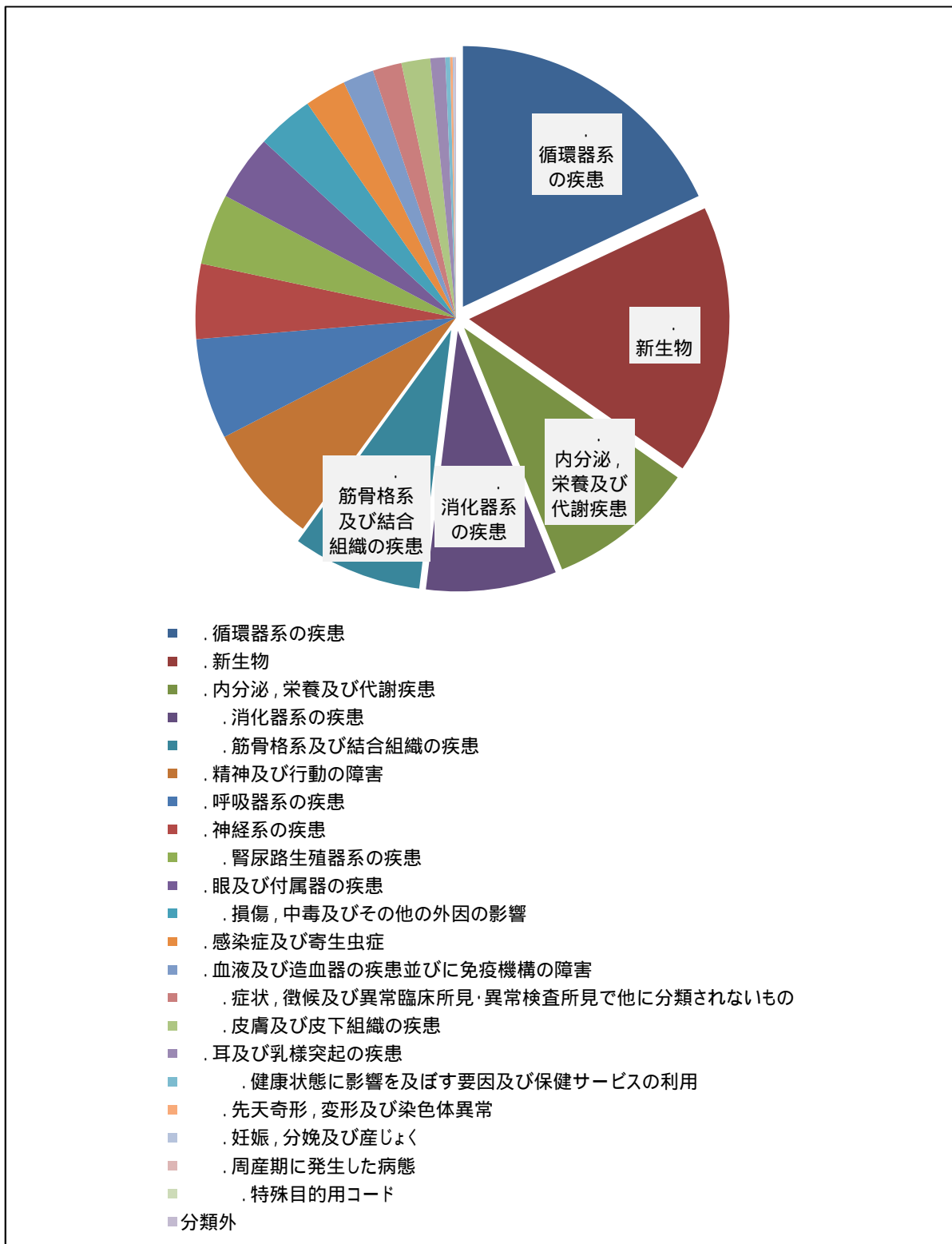
(図11)患者一人当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)...**医科、調剤の電子レセプトのみ**。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患... 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

疾病項目別の医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「消化器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で過半数を占めます。

(図12) 疾病項目別医療費割合



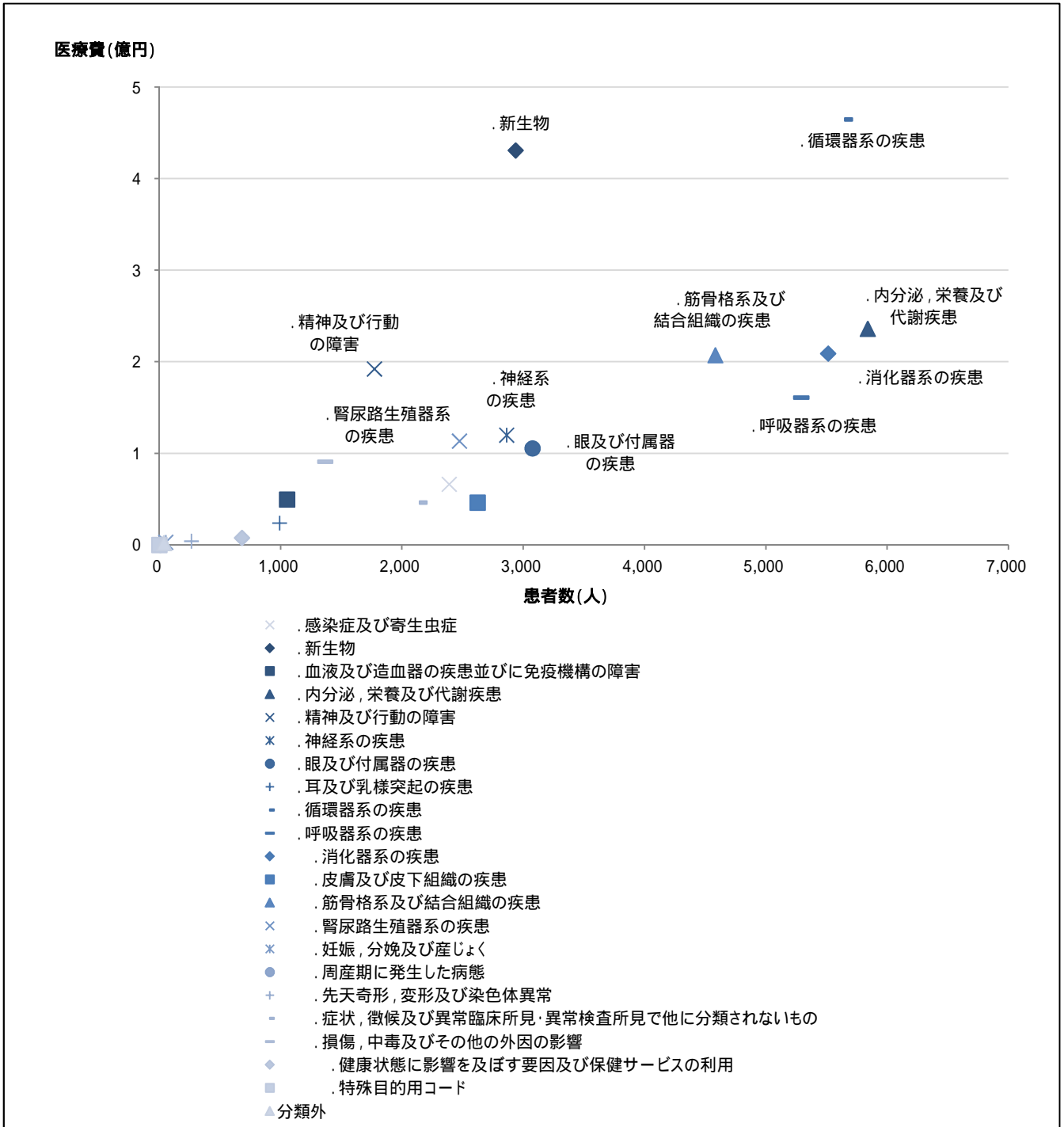
データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患...歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

以下は疾病項目毎の医療費、及び患者数のグラフです。

(図13) 大分類による疾病別医療費統計



データ化範囲(分析対象)... 医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患... 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

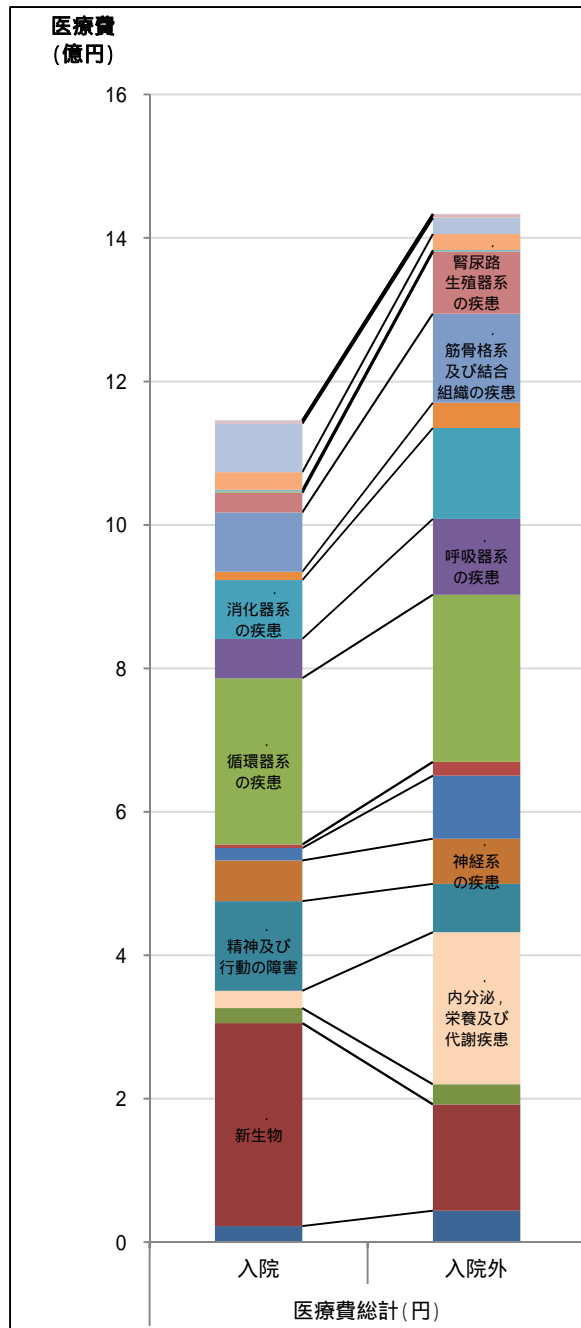
## イ 入院・入院外比較

以下は、北広島市国民健康保険における疾病別医療費統計を、入院・入院外別に示したものです。

(表19) (図14) 大分類による疾病別医療費統計

各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	医療費総計(円)	
	入院	入院外
・感染症及び寄生虫症	22,516,227	43,697,973
・新生物	282,692,111	148,132,781
・血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21,189,165	28,398,057
・内分泌、栄養及び代謝疾患	24,090,948	211,870,438
・精神及び行動の障害	124,735,121	67,437,554
・神経系の疾患	56,944,848	62,925,700
・眼及び付属器の疾患	17,468,013	87,931,737
・耳及び乳様突起の疾患	4,719,217	19,143,730
・循環器系の疾患	231,583,188	232,989,055
・呼吸器系の疾患	55,183,734	105,790,530
・消化器系の疾患	82,075,094	126,883,966
・皮膚及び皮下組織の疾患	11,261,202	34,905,194
・筋骨格系及び結合組織の疾患	82,964,565	124,241,278
・腎尿路生殖器系の疾患	26,991,659	86,408,648
・妊娠、分娩及び産じょく	2,249,838	673,577
・周産期に発生した病態	193,045	26,945
・先天奇形、変形及び染色体異常	2,095,815	1,972,699
・症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	24,379,579	21,950,625
・損傷、中毒及びその他の外因の影響	68,151,068	22,820,299
・健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,938,272	4,765,180
・特殊目的用コード	0	0
分類外	1,480,771	518,414
合計	1,145,903,480	1,433,484,380



データ化範囲(分析対象)... 医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患... 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

妊娠、分娩及び産じょく... 乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

周産期に発生した病態... ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

医療費総計... 大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

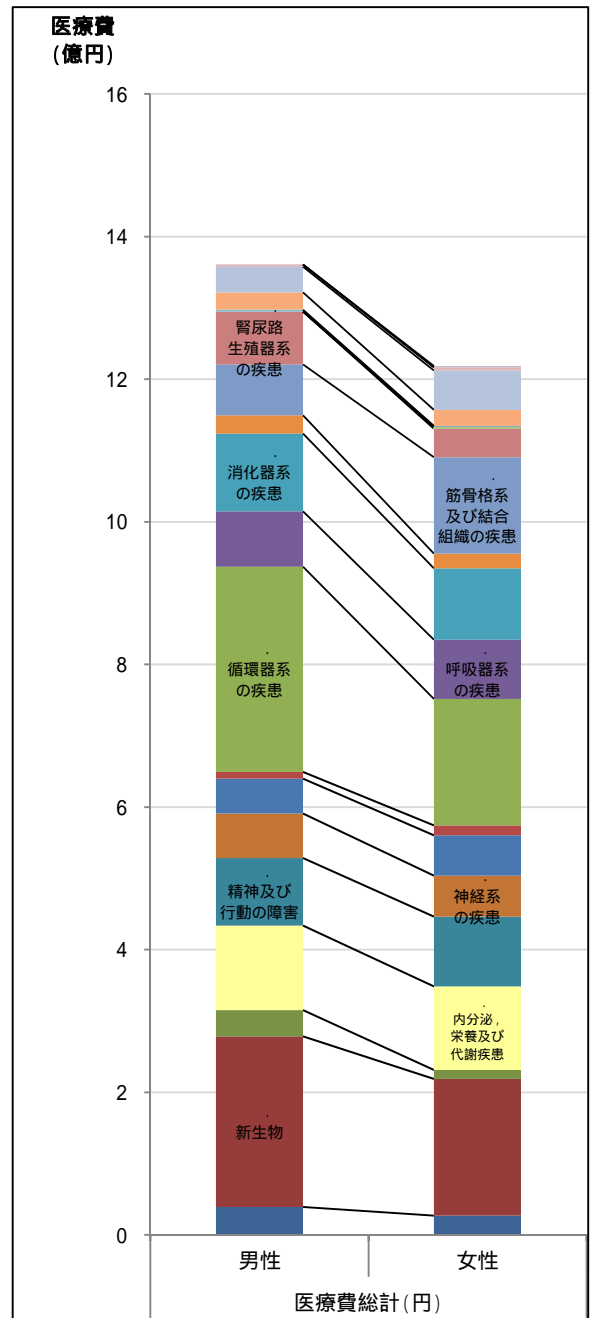
## ウ 男性・女性比較

以下は、北広島市国民健康保険における疾病別医療費を、男女別に示したものです。

(表20) (図15) 大分類による疾病別医療費統計

各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	医療費総計(円)	
	男性	女性
・感染症及び寄生虫症	39,167,138	27,047,062
・新生物	239,150,294	191,674,598
・血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	36,995,724	12,591,498
・内分泌, 栄養及び代謝疾患	118,623,937	117,337,449
・精神及び行動の障害	94,394,893	97,777,782
・神経系の疾患	62,666,293	57,204,255
・眼及び付属器の疾患	48,878,129	56,521,621
・耳及び乳様突起の疾患	9,536,402	14,326,545
・循環器系の疾患	287,541,187	177,031,056
・呼吸器系の疾患	77,836,443	83,137,821
・消化器系の疾患	109,039,813	99,919,247
・皮膚及び皮下組織の疾患	25,522,917	20,643,479
・筋骨格系及び結合組織の疾患	71,625,031	135,580,812
・腎尿路生殖器系の疾患	73,768,392	39,631,915
・妊娠, 分娩及び産じょく	0	2,923,415
・周産期に発生した病態	0	219,990
・先天奇形, 変形及び染色体異常	2,994,412	1,074,102
・ <small>・症状, 徴候及び異常臨床所見, 異常検査所見で他に分類されないもの</small>	24,038,783	22,291,421
・損傷, 中毒及びその他の外因の影響	35,780,483	55,190,884
・ <small>・健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用</small>	3,294,325	4,409,127
・特殊目的用コード	0	0
分類外	88,984	1,910,201
合計	1,360,943,580	1,218,444,280



データ化範囲(分析対象)... 医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患... 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

妊娠, 分娩及び産じょく... 乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, "男性" においても医療費が発生する可能性がある。

周産期に発生した病態... ABO 因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満) 以外においても医療費が発生する可能性がある。

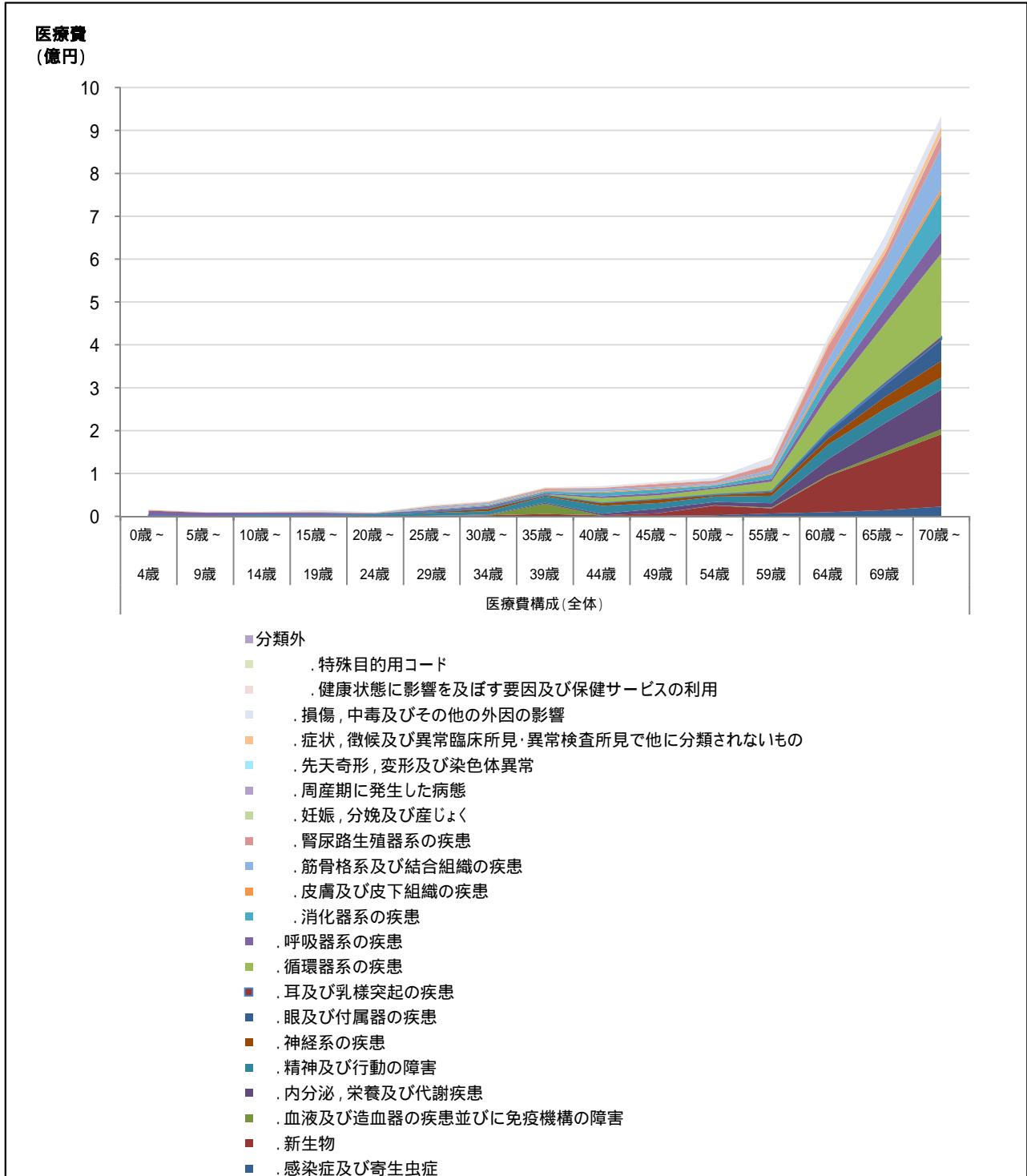
医療費総計... 大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等) 場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

## エ 年齢階層別比較

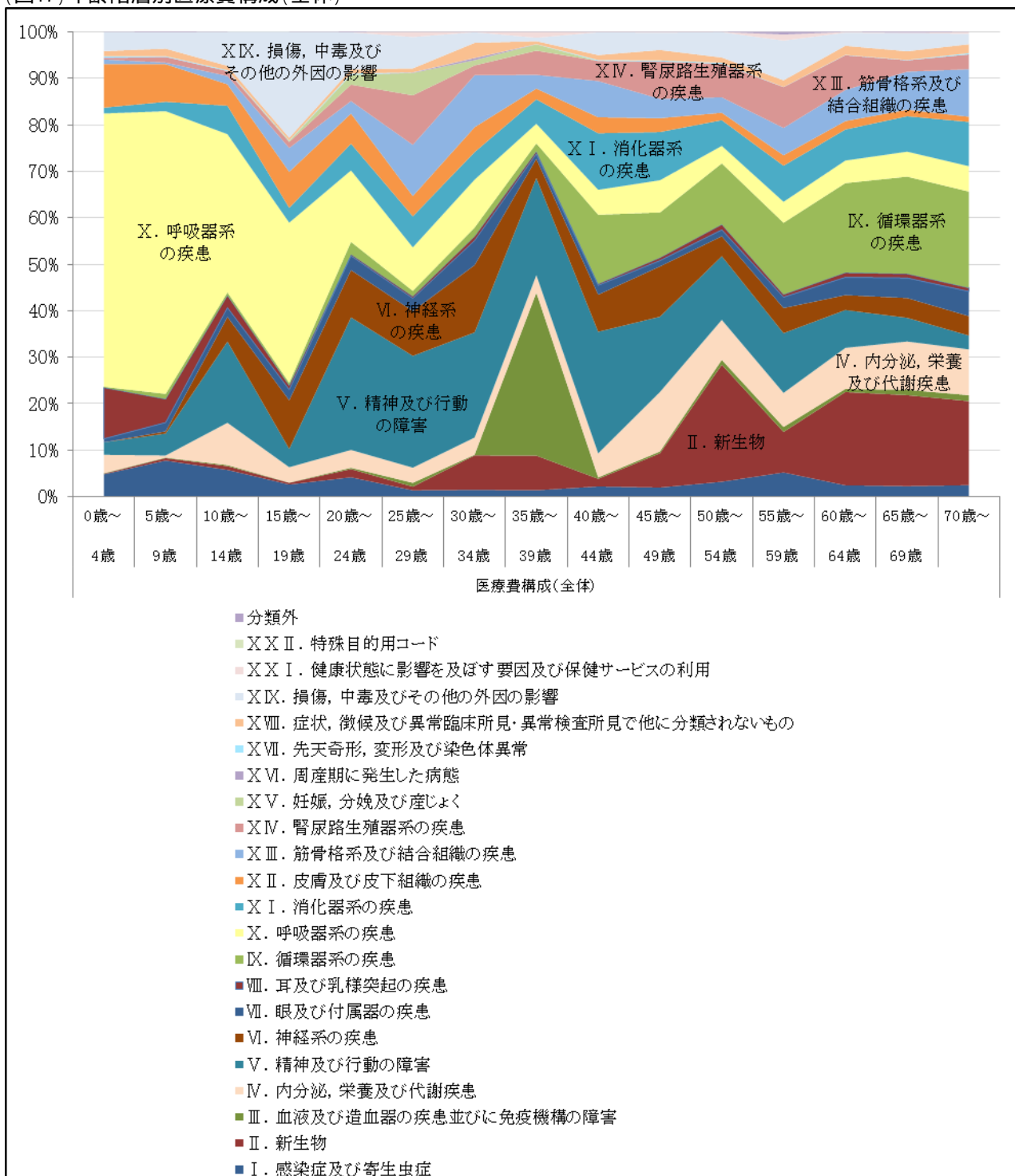
以下は北広島市国民健康保険における疾病別医療費と疾病別医療費構成を、年齢階層別に示したものです。

(図16) 年齢階層別医療費(全体)



データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患...歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(図17) 年齢階層別医療費構成 (全体)



データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患...歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(表21)年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(全体)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	.呼吸器系の疾患	.耳及び乳様突起の疾患	.皮膚及び皮下組織の疾患	.感染症及び寄生虫症	.損傷,中毒及びその他の外因の影響
5歳～9歳	.呼吸器系の疾患	.皮膚及び皮下組織の疾患	.感染症及び寄生虫症	.耳及び乳様突起の疾患	.精神及び行動の障害
10歳～14歳	.呼吸器系の疾患	.精神及び行動の障害	.内分泌,栄養及び代謝疾患	.損傷,中毒及びその他の外因の影響	.消化器系の疾患
15歳～19歳	.呼吸器系の疾患	.損傷,中毒及びその他の外因の影響	.神経系の疾患	.皮膚及び皮下組織の疾患	.筋骨格系及び結合組織の疾患
20歳～24歳	.精神及び行動の障害	.呼吸器系の疾患	.神経系の疾患	.損傷,中毒及びその他の外因の影響	.皮膚及び皮下組織の疾患
25歳～29歳	.精神及び行動の障害	.筋骨格系及び結合組織の疾患	.腎尿路生殖器系の疾患	.神経系の疾患	.呼吸器系の疾患
30歳～34歳	.精神及び行動の障害	.神経系の疾患	.筋骨格系及び結合組織の疾患	.呼吸器系の疾患	.新生物
35歳～39歳	.血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	.精神及び行動の障害	.新生物	.消化器系の疾患	.腎尿路生殖器系の疾患
40歳～44歳	.精神及び行動の障害	.循環器系の疾患	.消化器系の疾患	.神経系の疾患	.筋骨格系及び結合組織の疾患
45歳～49歳	.精神及び行動の障害	.内分泌,栄養及び代謝疾患	.神経系の疾患	.消化器系の疾患	.循環器系の疾患
50歳～54歳	.新生物	.精神及び行動の障害	.循環器系の疾患	.内分泌,栄養及び代謝疾患	.腎尿路生殖器系の疾患
55歳～59歳	.循環器系の疾患	.精神及び行動の障害	.腎尿路生殖器系の疾患	.新生物	.損傷,中毒及びその他の外因の影響
60歳～64歳	.新生物	.循環器系の疾患	.内分泌,栄養及び代謝疾患	.精神及び行動の障害	.腎尿路生殖器系の疾患
65歳～69歳	.循環器系の疾患	.新生物	.内分泌,栄養及び代謝疾患	.筋骨格系及び結合組織の疾患	.消化器系の疾患
70歳～	.循環器系の疾患	.新生物	.筋骨格系及び結合組織の疾患	.内分泌,栄養及び代謝疾患	.消化器系の疾患

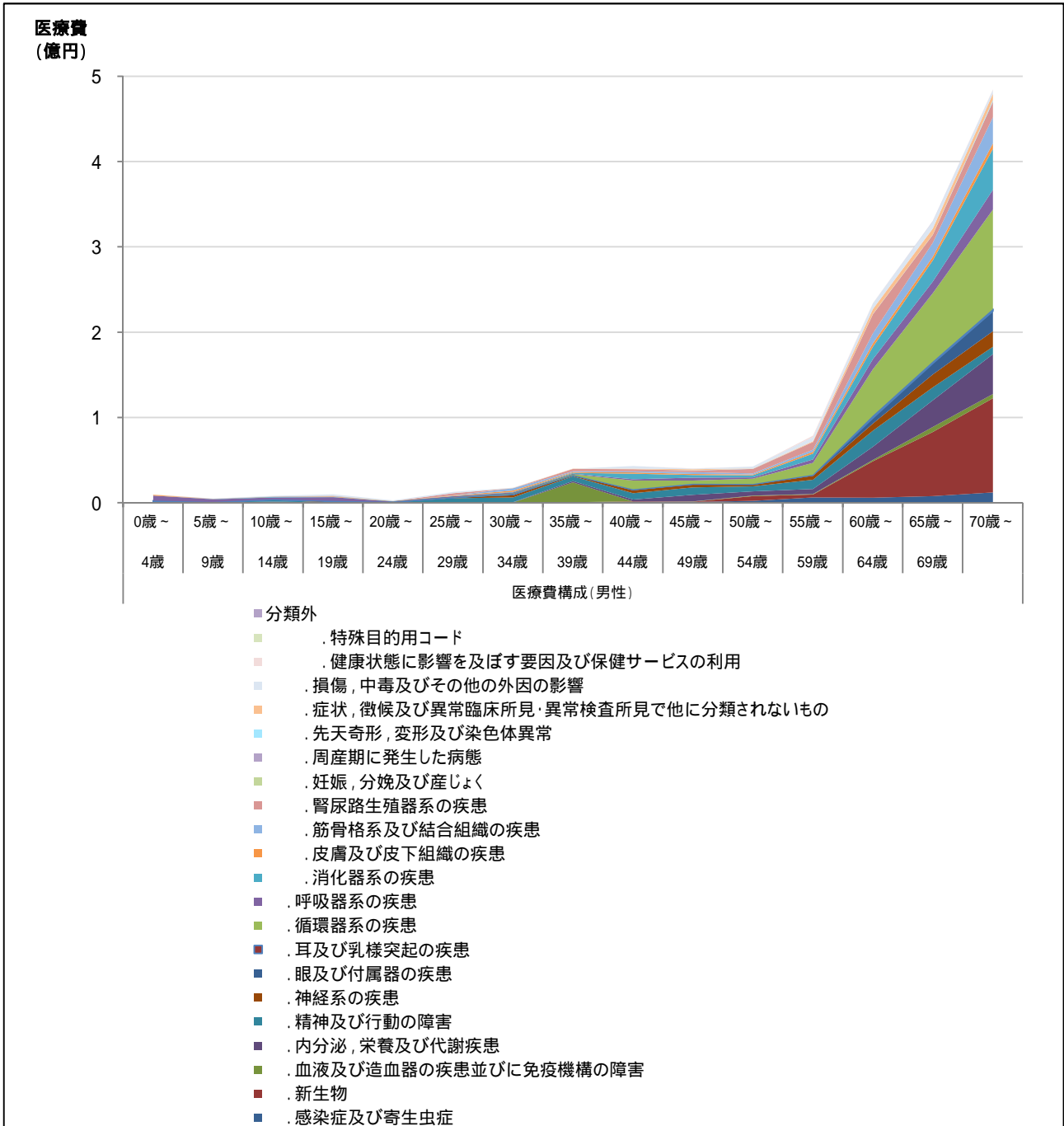
データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患...歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

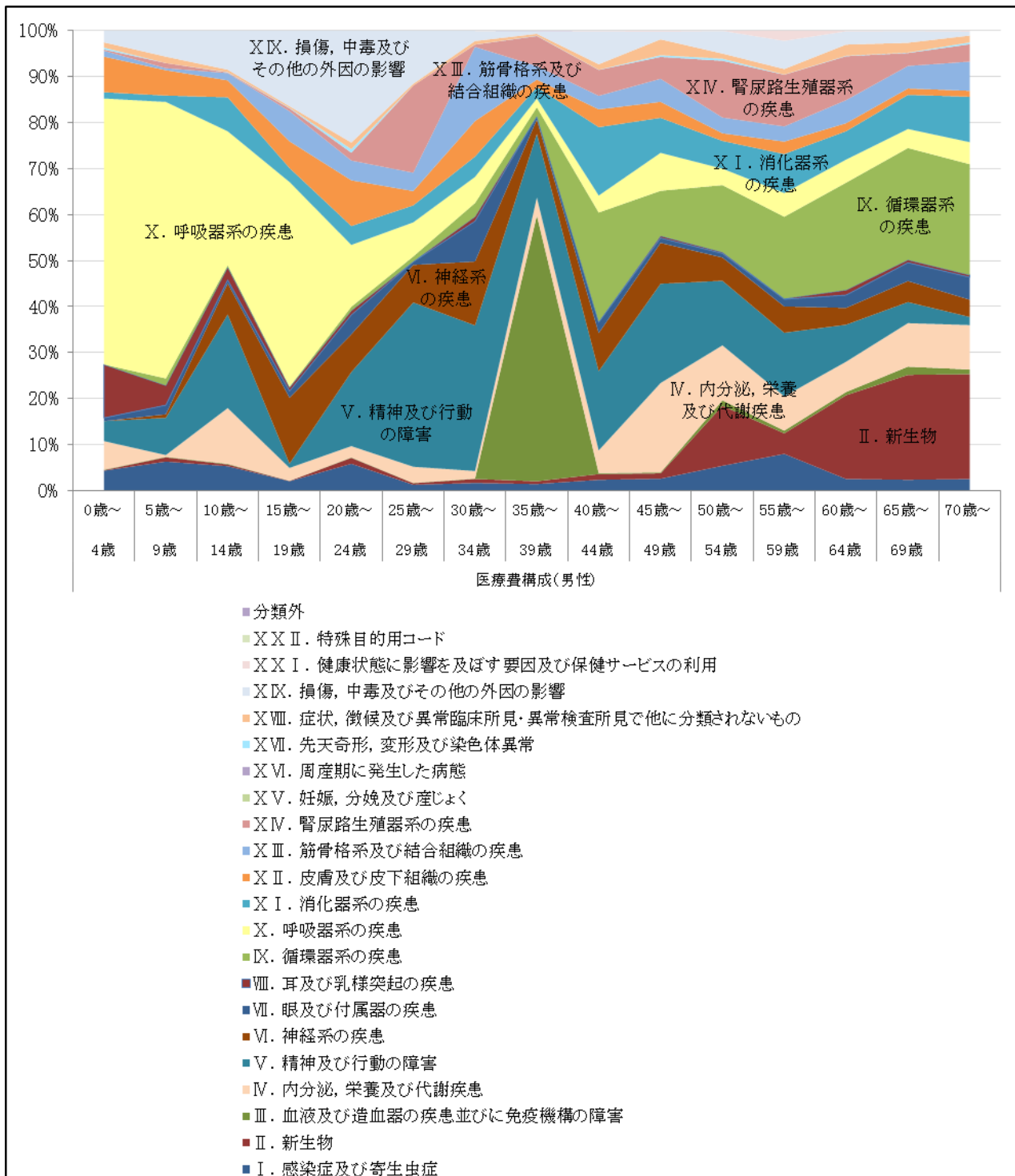
以下は北広島市国民健康保険の男性における疾病別医療費と疾病別医療費構成を、年齢階層別に示したものです。

(図18) 年齢階層別医療費(男性)



データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患...歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(図19) 年齢階層別医療費構成 (男性)



データ化範囲(分析対象)...**医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)**  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患...**歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。**

(表22) 年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(男性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	. 呼吸器系の疾患	. 耳及び乳様突起の疾患	. 皮膚及び皮下組織の疾患	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 精神及び行動の障害
5歳～9歳	. 呼吸器系の疾患	. 精神及び行動の障害	. 感染症及び寄生虫症	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 皮膚及び皮下組織の疾患
10歳～14歳	. 呼吸器系の疾患	. 精神及び行動の障害	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 消化器系の疾患
15歳～19歳	. 呼吸器系の疾患	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 神経系の疾患	. 筋骨格系及び結合組織の疾患	. 皮膚及び皮下組織の疾患
20歳～24歳	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 精神及び行動の障害	. 呼吸器系の疾患	. 皮膚及び皮下組織の疾患	. 神経系の疾患
25歳～29歳	. 精神及び行動の障害	. 腎尿路生殖器系の疾患	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 神経系の疾患	. 呼吸器系の疾患
30歳～34歳	. 精神及び行動の障害	. 筋骨格系及び結合組織の疾患	. 神経系の疾患	. 眼及び付属器の疾患	. 皮膚及び皮下組織の疾患
35歳～39歳	. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	. 精神及び行動の障害	. 腎尿路生殖器系の疾患	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 神経系の疾患
40歳～44歳	. 循環器系の疾患	. 精神及び行動の障害	. 消化器系の疾患	. 神経系の疾患	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
45歳～49歳	. 精神及び行動の障害	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 循環器系の疾患	. 神経系の疾患	. 呼吸器系の疾患
50歳～54歳	. 循環器系の疾患	. 精神及び行動の障害	. 新生物	. 腎尿路生殖器系の疾患	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
55歳～59歳	. 循環器系の疾患	. 精神及び行動の障害	. 腎尿路生殖器系の疾患	. 消化器系の疾患	. 感染症及び寄生虫症
60歳～64歳	. 循環器系の疾患	. 新生物	. 腎尿路生殖器系の疾患	. 精神及び行動の障害	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
65歳～69歳	. 循環器系の疾患	. 新生物	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 消化器系の疾患	. 筋骨格系及び結合組織の疾患
70歳～	. 循環器系の疾患	. 新生物	. 消化器系の疾患	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 筋骨格系及び結合組織の疾患

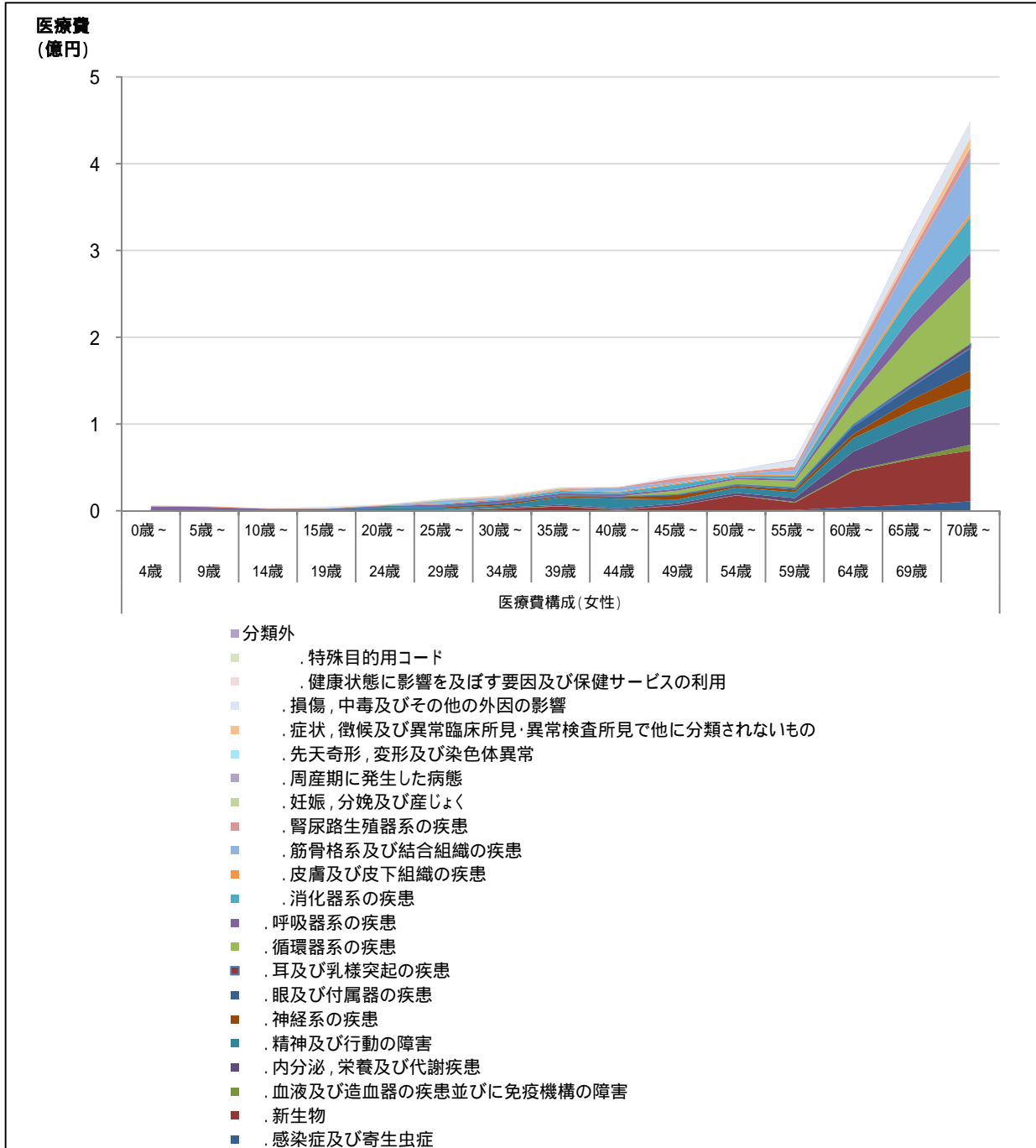
データ化範囲(分析対象)... 医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患... 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

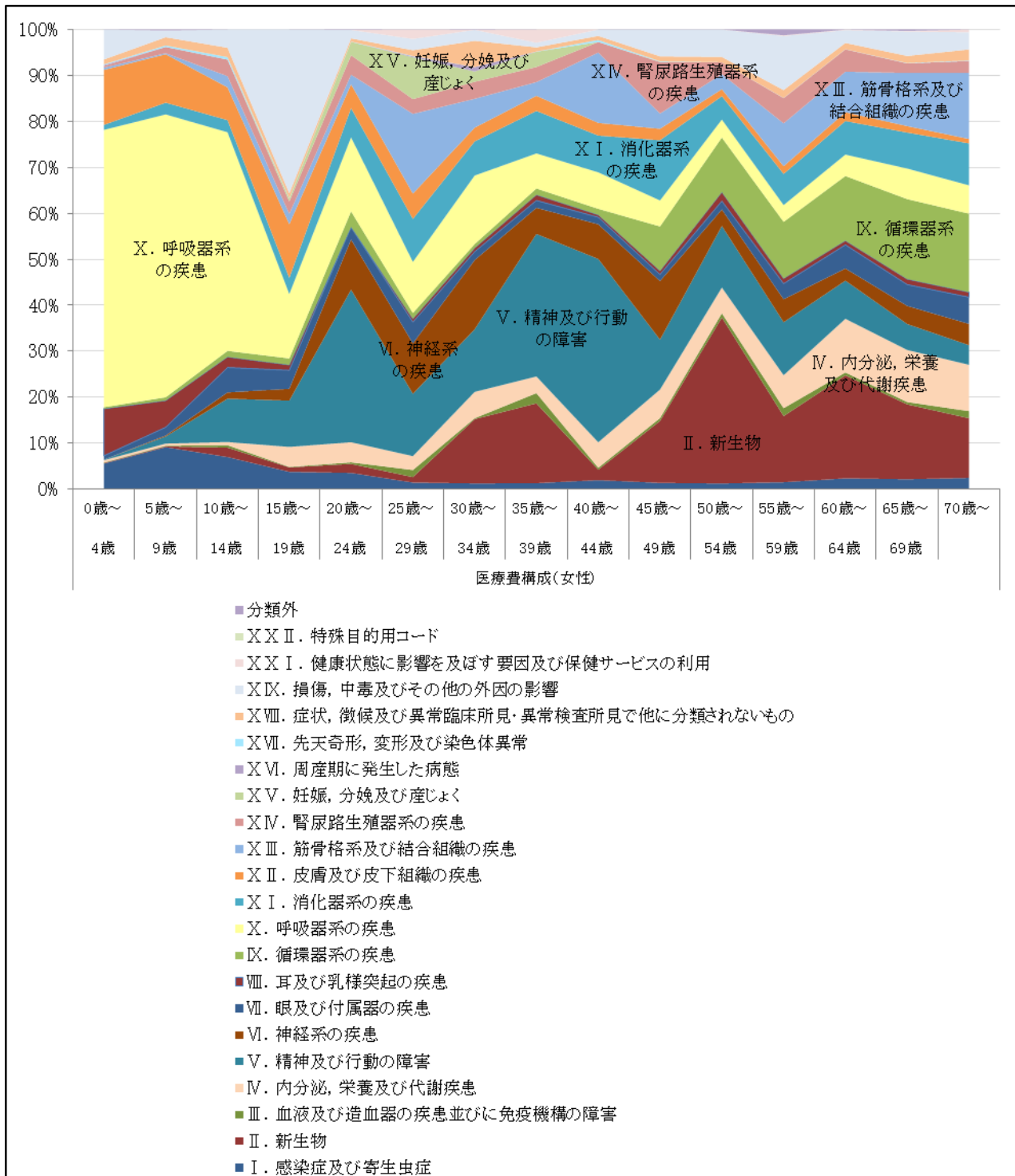
以下は北広島市国民健康保険の女性における疾病別医療費と疾病別医療費構成を、年齢階層別に示したものです。

(図20) 年齢階層別医療費(女性)



データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患...歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(図21) 年齢階層別医療費構成(女性)



データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患...歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(表23) 年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(女性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	. 呼吸器系の疾患	. 皮膚及び皮下組織の疾患	. 耳及び乳様突起の疾患	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 感染症及び寄生虫症
5歳～9歳	. 呼吸器系の疾患	. 皮膚及び皮下組織の疾患	. 感染症及び寄生虫症	. 耳及び乳様突起の疾患	. 消化器系の疾患
10歳～14歳	. 呼吸器系の疾患	. 精神及び行動の障害	. 皮膚及び皮下組織の疾患	. 感染症及び寄生虫症	. 眼及び付属器の疾患
15歳～19歳	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 呼吸器系の疾患	. 皮膚及び皮下組織の疾患	. 精神及び行動の障害	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
20歳～24歳	. 精神及び行動の障害	. 呼吸器系の疾患	. 神経系の疾患	. 消化器系の疾患	. 皮膚及び皮下組織の疾患
25歳～29歳	. 筋骨格系及び結合組織の疾患	. 精神及び行動の障害	. 呼吸器系の疾患	. 神経系の疾患	. 消化器系の疾患
30歳～34歳	. 神経系の疾患	. 呼吸器系の疾患	. 新生物	. 精神及び行動の障害	. 消化器系の疾患
35歳～39歳	. 精神及び行動の障害	. 新生物	. 消化器系の疾患	. 呼吸器系の疾患	. 神経系の疾患
40歳～44歳	. 精神及び行動の障害	. 筋骨格系及び結合組織の疾患	. 消化器系の疾患	. 呼吸器系の疾患	. 神経系の疾患
45歳～49歳	. 新生物	. 消化器系の疾患	. 神経系の疾患	. 腎尿路生殖器系の疾患	. 精神及び行動の障害
50歳～54歳	. 新生物	. 精神及び行動の障害	. 循環器系の疾患	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
55歳～59歳	. 新生物	. 循環器系の疾患	. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	. 精神及び行動の障害	. 筋骨格系及び結合組織の疾患
60歳～64歳	. 新生物	. 循環器系の疾患	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 筋骨格系及び結合組織の疾患	. 精神及び行動の障害
65歳～69歳	. 循環器系の疾患	. 新生物	. 筋骨格系及び結合組織の疾患	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 消化器系の疾患
70歳～	. 循環器系の疾患	. 筋骨格系及び結合組織の疾患	. 新生物	. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)... 医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患... 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## 中分類による疾病別医療費統計

以下は疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものです。

(表24) 中分類による疾病別統計 (医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比 (%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0210	その他の悪性新生物	130,994,717	5.1%	1,408
2	0901	高血圧性疾患	127,025,857	4.9%	4,449
3	0402	糖尿病	120,039,528	4.7%	3,744
4	1112	その他の消化器系の疾患	110,657,683	4.3%	3,435
5	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	102,484,660	4.0%	4,483
6	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	100,938,980	3.9%	394
7	0902	虚血性心疾患	91,017,138	3.5%	1,661
8	0903	その他の心疾患	84,110,312	3.3%	1,892
9	0606	その他の神経系の疾患	72,333,570	2.8%	2,518
10	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物	65,637,864	2.5%	286

データ化範囲(分析対象)...**医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)**

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費総計...中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

(表25) 中分類による疾病別統計 (患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比 (%) (患者数全体に対して占 める割合)	患者数 (人)
1	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	102,484,660	39.1%	4,483
2	0901	高血圧性疾患	127,025,857	38.8%	4,449
3	0402	糖尿病	120,039,528	32.7%	3,744
4	1112	その他の消化器系の疾患	110,657,683	30.0%	3,435
5	1006	アレルギー性鼻炎	27,096,513	23.2%	2,653
6	0606	その他の神経系の疾患	72,333,570	22.0%	2,518
7	0703	屈折及び調節の障害	9,282,462	20.0%	2,287
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	55,480,453	19.1%	2,190
9	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	36,922,418	19.1%	2,185
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	20,627,527	18.9%	2,169

データ化範囲(分析対象)...**医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)**

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

患者数...中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

(表26) 中分類による疾病別統計 (患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0209	白血病	8,208,189	16	513,012
2	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	24,791,671	52	476,763
3	0904	くも膜下出血	13,944,191	31	449,813
4	1402	腎不全	57,843,589	212	272,847
5	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	100,938,980	394	256,190
6	0208	悪性リンパ腫	16,343,275	65	251,435
7	0206	乳房の悪性新生物	49,239,510	203	242,559
8	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物	65,637,864	286	229,503
9	0905	脳内出血	22,592,217	99	228,204
10	0501	血管性及び詳細不明の認知症	5,027,813	42	119,710

データ化範囲(分析対象)...**医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)**

患者一人当たりの医療費...中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

(表27) 中分類による疾病別医療費統計(全項目)

大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計 (円)			レセプト件数			患者数			
		2,579,387,860			104,124			11,460			
疾病項目	医療費総計 (円)	構成比 (%)	順位	レセプト件数	構成比 (%)	順位	患者数	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
<b>・感染症及び寄生虫症</b>	<b>66,214,200</b>	<b>2.6%</b>		<b>7,496</b>	<b>7.2%</b>		<b>2,389</b>	<b>20.8%</b>		<b>27,716</b>	
0101 腸管感染症	4,609,075	0.2%		1,352	1.3%		575	5.0%		8,016	
0102 結核	1,736,833	0.1%		194	0.2%		59	0.5%		29,438	
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	572,382	0.0%		158	0.2%		103	0.9%		5,557	
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	6,173,320	0.2%		1,191	1.1%		410	3.6%		15,057	
0105 ウイルス肝炎	22,744,478	0.9%		1,360	1.3%		412	3.6%		55,205	
0106 その他のウイルス疾患	3,524,583	0.1%		193	0.2%		97	0.8%		36,336	
0107 真菌症	11,848,604	0.5%		2,091	2.0%		698	6.1%		16,975	
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	57,005	0.0%		27	0.0%		7	0.1%		8,144	
0109 その他の感染症及び寄生虫症	14,947,920	0.6%		1,613	1.5%		570	5.0%		26,224	
<b>・新生物</b>	<b>430,824,892</b>	<b>16.7%</b>		<b>8,594</b>	<b>8.3%</b>		<b>2,937</b>	<b>25.6%</b>		<b>146,689</b>	
0201 胃の悪性新生物	30,466,838	1.2%		1,018	1.0%		386	3.4%		78,930	
0202 結腸の悪性新生物	36,986,345	1.4%		1,282	1.2%		571	5.0%		64,775	
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	24,791,671	1.0%		200	0.2%		52	0.5%		476,763	2
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物	18,283,993	0.7%		610	0.6%		241	2.1%		75,867	
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物	65,637,864	2.5%	10	758	0.7%		286	2.5%		229,503	8
0206 乳房の悪性新生物	49,239,510	1.9%		713	0.7%		203	1.8%		242,559	7
0207 子宮の悪性新生物	11,499,432	0.4%		336	0.3%		171	1.5%		67,248	
0208 悪性リンパ腫	16,343,275	0.6%		202	0.2%		65	0.6%		251,435	6
0209 白血病	8,208,189	0.3%		71	0.1%		16	0.1%		513,012	1
0210 その他の悪性新生物	130,994,717	5.1%	1	3,661	3.5%		1,408	12.3%		93,036	
0211 良性新生物及びその他の新生物	38,373,058	1.5%		2,530	2.4%		1,286	11.2%		29,839	
<b>・血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害</b>	<b>49,587,222</b>	<b>1.9%</b>		<b>3,004</b>	<b>2.9%</b>		<b>1,053</b>	<b>9.2%</b>		<b>47,091</b>	
0301 貧血	37,981,034	1.5%		2,058	2.0%		733	6.4%		51,816	
0302 その他の血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	11,606,188	0.4%		1,124	1.1%		441	3.8%		26,318	
<b>・内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	<b>235,961,386</b>	<b>9.1%</b>		<b>36,862</b>	<b>35.4%</b>		<b>5,839</b>	<b>51.0%</b>		<b>40,411</b>	
0401 甲状腺障害	13,437,198	0.5%		3,444	3.3%		1,023	8.9%		13,135	
0402 糖尿病	120,039,528	4.7%	3	18,134	17.4%	4	3,744	32.7%	3	32,062	
0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	102,484,660	4.0%	5	28,242	27.1%	2	4,483	39.1%	1	22,861	
<b>・精神及び行動の障害</b>	<b>192,172,675</b>	<b>7.5%</b>		<b>11,995</b>	<b>11.5%</b>		<b>1,773</b>	<b>15.5%</b>		<b>108,388</b>	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	5,027,813	0.2%		153	0.1%		42	0.4%		119,710	10
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3,512,002	0.1%		186	0.2%		42	0.4%		83,619	
0503 統合失調症 統合失調症型障害及び妄想性障害	100,938,980	3.9%	6	2,884	2.8%		394	3.4%		256,190	5
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	54,309,715	2.1%		5,274	5.1%		667	5.8%		81,424	
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15,903,867	0.6%		6,204	6.0%		1,033	9.0%		15,396	
0506 知的障害<精神遅滞>	1,686,428	0.1%		264	0.3%		35	0.3%		48,184	
0507 その他の精神及び行動の障害	10,793,870	0.4%		775	0.7%		152	1.3%		71,012	
<b>・神経系の疾患</b>	<b>119,870,548</b>	<b>4.6%</b>		<b>18,711</b>	<b>18.0%</b>		<b>2,863</b>	<b>25.0%</b>		<b>41,869</b>	
0601 パーキンソン病	15,321,067	0.6%		1,371	1.3%		173	1.5%		88,561	
0602 アルツハイマー病	10,292,595	0.4%		615	0.6%		105	0.9%		98,025	
0603 てんかん	17,606,445	0.7%		1,939	1.9%		329	2.9%		53,515	
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,576,344	0.1%		113	0.1%		45	0.4%		79,474	

(表28) 中分類による疾病別医療費統計2(全項目)

大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計 (円)			レセプト件数			患者数			
		2,579,387,860			104,124			11,460			
疾病項目	医療費総計 (円)	構成比 (%)	順位	レセプト件数	構成比 (%)	順位	患者数	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0605	自律神経系の障害	740,527	0.0%		826	0.8%		135	1.2%		5,485
0606	その他の神経系の疾患	72,333,570	2.8%	9	16,203	15.6%	5	2,518	22.0%	6	28,727
	<b>眼及び付属器の疾患</b>	<b>105,399,750</b>	<b>4.1%</b>		<b>10,099</b>	<b>9.7%</b>		<b>3,076</b>	<b>26.8%</b>		<b>34,265</b>
0701	結膜炎	7,027,537	0.3%		4,114	4.0%		1,211	10.6%		5,803
0702	白内障	33,609,298	1.3%		2,987	2.9%		925	8.1%		36,334
0703	屈折及び調節の障害	9,282,462	0.4%		7,384	7.1%		2,287	20.0%	7	4,059
0704	その他の眼及び付属器の疾患	55,480,453	2.2%		7,766	7.5%		2,190	19.1%	8	25,334
	<b>耳及び乳様突起の疾患</b>	<b>23,862,947</b>	<b>0.9%</b>		<b>3,882</b>	<b>3.7%</b>		<b>991</b>	<b>8.6%</b>		<b>24,080</b>
0801	外耳炎	607,173	0.0%		425	0.4%		169	1.5%		3,593
0802	その他の外耳疾患	753,330	0.0%		448	0.4%		212	1.8%		3,553
0803	中耳炎	3,892,686	0.2%		971	0.9%		287	2.5%		13,563
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	2,062,735	0.1%		1,244	1.2%		369	3.2%		5,590
0805	メニエール病	7,433,724	0.3%		1,654	1.6%		356	3.1%		20,881
0806	その他の内耳疾患	1,805,484	0.1%		217	0.2%		84	0.7%		21,494
0807	その他の耳疾患	7,307,815	0.3%		1,644	1.6%		533	4.7%		13,711
	<b>循環器系の疾患</b>	<b>464,572,243</b>	<b>18.0%</b>		<b>37,592</b>	<b>36.1%</b>		<b>5,650</b>	<b>49.3%</b>		<b>82,225</b>
0901	高血圧性疾患	127,025,857	4.9%	2	31,308	30.1%	1	4,449	38.8%	2	28,552
0902	虚血性心疾患	91,017,138	3.5%	7	9,077	8.7%	10	1,661	14.5%		54,797
0903	その他の心疾患	84,110,312	3.3%	8	9,507	9.1%	9	1,892	16.5%		44,456
0904	くも膜下出血	13,944,191	0.5%		84	0.1%		31	0.3%		449,813
0905	脳内出血	22,592,217	0.9%		237	0.2%		99	0.9%		228,204
0906	脳梗塞	50,075,081	1.9%		3,028	2.9%		764	6.7%		65,543
0907	脳動脈硬化	450,438	0.0%		297	0.3%		121	1.1%		3,723
0908	その他の脳血管疾患	37,131,365	1.4%		1,741	1.7%		685	6.0%		54,206
0909	動脈硬化	13,446,958	0.5%		2,935	2.8%		894	7.8%		15,041
0910	痔核	4,358,821	0.2%		994	1.0%		299	2.6%		14,578
0911	低血圧	498,337	0.0%		164	0.2%		32	0.3%		15,573
0912	その他の循環器系の疾患	19,921,528	0.8%		2,202	2.1%		569	5.0%		35,011
	<b>呼吸器系の疾患</b>	<b>160,974,264</b>	<b>6.2%</b>		<b>22,229</b>	<b>21.3%</b>		<b>5,291</b>	<b>46.2%</b>		<b>30,424</b>
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ] <感冒>	939,761	0.0%		890	0.9%		334	2.9%		2,814
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	4,028,822	0.2%		2,885	2.8%		1,143	10.0%		3,525
1003	その他の急性上気道感染症	10,677,214	0.4%		5,283	5.1%		2,018	17.6%		5,291
1004	肺炎	18,863,922	0.7%		1,329	1.3%		547	4.8%		34,486
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	12,260,767	0.5%		5,191	5.0%		2,029	17.7%		6,043
1006	アレルギー性鼻炎	27,096,513	1.1%		10,294	9.9%	7	2,653	23.2%	5	10,214
1007	慢性副鼻腔炎	6,308,377	0.2%		3,543	3.4%		939	8.2%		6,718
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	2,017,558	0.1%		679	0.7%		225	2.0%		8,967
1009	慢性閉塞性肺疾患	12,047,631	0.5%		2,058	2.0%		436	3.8%		27,632
1010	喘息	26,693,897	1.0%		6,262	6.0%		1,357	11.8%		19,671
1011	その他の呼吸器系の疾患	40,039,802	1.6%		5,333	5.1%		1,929	16.8%		20,757
	<b>消化器系の疾患</b>	<b>208,959,060</b>	<b>8.1%</b>		<b>30,844</b>	<b>29.6%</b>		<b>5,513</b>	<b>48.1%</b>		<b>37,903</b>
1101	う蝕	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0

(表29) 中分類による疾病別医療費統計3(全項目)

大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計 (円)			レセプト件数			患者数			
		2,579,387,860			104,124			11,460			
疾病項目	医療費総計 (円)	構成比 (%)	順位	レセプト件数	構成比 (%)	順位	患者数	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1102	歯肉炎及び歯周疾患	1,710	0.0%		6	0.0%		4	0.0%		428
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	33,618	0.0%		25	0.0%		8	0.1%		4,202
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	36,922,418	1.4%		11,510	11.1%	6	2,185	19.1%	9	16,898
1105	胃炎及び十二指腸炎	20,627,527	0.8%		10,040	9.6%	8	2,169	18.9%	10	9,510
1106	アルコール性肝疾患	335,977	0.0%		163	0.2%		35	0.3%		9,599
1107	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	3,125,568	0.1%		1,323	1.3%		310	2.7%		10,082
1108	肝硬変(アルコール性のものを除く)	4,590,017	0.2%		618	0.6%		141	1.2%		32,553
1109	その他の肝疾患	10,061,012	0.4%		3,578	3.4%		1,172	10.2%		8,584
1110	胆石症及び胆のう炎	17,046,465	0.7%		1,052	1.0%		337	2.9%		50,583
1111	脾疾患	5,557,065	0.2%		868	0.8%		278	2.4%		19,989
1112	その他の消化器系の疾患	110,657,683	4.3%	4	18,435	17.7%	3	3,435	30.0%	4	32,215
<b>皮膚及び皮下組織の疾患</b>		<b>46,166,396</b>	<b>1.8%</b>		<b>9,658</b>	<b>9.3%</b>		<b>2,624</b>	<b>22.9%</b>		<b>17,594</b>
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	4,154,733	0.2%		725	0.7%		271	2.4%		15,331
1202	皮膚炎及び湿疹	21,712,308	0.8%		6,590	6.3%		1,818	15.9%		11,943
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	20,299,355	0.8%		4,664	4.5%		1,361	11.9%		14,915
<b>筋骨格系及び結合組織の疾患</b>		<b>207,205,843</b>	<b>8.0%</b>		<b>22,869</b>	<b>22.0%</b>		<b>4,583</b>	<b>40.0%</b>		<b>45,212</b>
1301	炎症性多発性関節障害	32,409,305	1.3%		3,544	3.4%		820	7.2%		39,524
1302	関節症	46,467,923	1.8%		4,807	4.6%		980	8.6%		47,416
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	31,366,838	1.2%		3,934	3.8%		933	8.1%		33,619
1304	椎間板障害	8,680,787	0.3%		1,003	1.0%		302	2.6%		28,744
1305	頸腕症候群	2,026,490	0.1%		1,063	1.0%		276	2.4%		7,342
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	14,082,902	0.5%		7,262	7.0%		1,709	14.9%		8,240
1307	その他の脊柱障害	3,097,578	0.1%		730	0.7%		225	2.0%		13,767
1308	肩の傷害<損傷>	9,126,058	0.4%		2,897	2.8%		639	5.6%		14,282
1309	骨の密度及び構造の障害	28,078,713	1.1%		4,945	4.7%		974	8.5%		28,828
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	31,869,249	1.2%		5,280	5.1%		1,544	13.5%		20,641
<b>腎尿路生殖器系の疾患</b>		<b>113,400,307</b>	<b>4.4%</b>		<b>8,859</b>	<b>8.5%</b>		<b>2,474</b>	<b>21.6%</b>		<b>45,837</b>
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	6,035,887	0.2%		1,191	1.1%		389	3.4%		15,516
1402	腎不全	57,843,589	2.2%		1,266	1.2%		212	1.8%		272,847
1403	尿路結石症	6,985,736	0.3%		452	0.4%		188	1.6%		37,158
1404	その他の腎尿路系の疾患	16,738,012	0.6%		4,128	4.0%		1,331	11.6%		12,576
1405	前立腺肥大	16,551,967	0.6%		2,133	2.0%		452	3.9%		36,619
1406	その他の男性生殖器の疾患	1,506,227	0.1%		201	0.2%		76	0.7%		19,819
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	1,959,786	0.1%		546	0.5%		165	1.4%		11,877
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	5,779,103	0.2%		775	0.7%		458	4.0%		12,618
<b>妊娠,分娩及び産じょく</b>		<b>2,923,415</b>	<b>0.1%</b>		<b>110</b>	<b>0.1%</b>		<b>53</b>	<b>0.5%</b>		<b>55,159</b>
1501	流産	739,345	0.0%		14	0.0%		10	0.1%		73,935
1502	妊娠高血圧症候群	2,662	0.0%		1	0.0%		1	0.0%		2,662
1503	単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0
1504	その他の妊娠,分娩及び産じょく	2,181,408	0.1%		99	0.1%		48	0.4%		45,446
<b>周産期に発生した病態</b>		<b>219,990</b>	<b>0.0%</b>		<b>11</b>	<b>0.0%</b>		<b>8</b>	<b>0.1%</b>		<b>27,499</b>
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	14,084	0.0%		5	0.0%		3	0.0%		4,695

(表30) 中分類による疾病別医療費統計4(全項目)

大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計 (円)			レセプト件数			患者数			
		2,579,387,860			104,124			11,460			
疾病項目	医療費総計 (円)	構成比 (%)	順位	レセプト件数	構成比 (%)	順位	患者数	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1602	その他の周産期に発生した病態	205,906	0.0%		8	0.0%		6	0.1%		34,318
	<b>・先天奇形,変形及び染色体異常</b>	<b>4,068,514</b>	<b>0.2%</b>		<b>988</b>	<b>0.9%</b>		<b>264</b>	<b>2.3%</b>		<b>15,411</b>
1701	心臓の先天奇形	1,780,400	0.1%		36	0.0%		15	0.1%		118,693
1702	その他の先天奇形,変形及び染色体異常	2,288,114	0.1%		957	0.9%		253	2.2%		9,044
	<b>・症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの</b>	<b>46,330,204</b>	<b>1.8%</b>		<b>7,736</b>	<b>7.4%</b>		<b>2,144</b>	<b>18.7%</b>		<b>21,609</b>
1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	46,330,204	1.8%		7,736	7.4%		2,144	18.7%		21,609
	<b>・損傷,中毒及びその他の外因の影響</b>	<b>90,971,367</b>	<b>3.5%</b>		<b>3,895</b>	<b>3.7%</b>		<b>1,367</b>	<b>11.9%</b>		<b>66,548</b>
1901	骨折	31,165,173	1.2%		1,040	1.0%		340	3.0%		91,662
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	9,996,614	0.4%		143	0.1%		91	0.8%		109,853
1903	熱傷及び腐食	369,439	0.0%		70	0.1%		31	0.3%		11,917
1904	中毒	1,129,170	0.0%		65	0.1%		37	0.3%		30,518
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	48,310,971	1.9%		2,959	2.8%		1,107	9.7%		43,641
	<b>・健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用</b>	<b>7,703,452</b>	<b>0.3%</b>		<b>2,976</b>	<b>2.9%</b>		<b>681</b>	<b>5.9%</b>		<b>11,312</b>
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	7,500	0.0%		2	0.0%		2	0.0%		3,750
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	24,878	0.0%		12	0.0%		1	0.0%		24,878
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	7,671,074	0.3%		2,962	2.8%		678	5.9%		11,314
	<b>・特殊目的用コード</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>		<b>0</b>	<b>0.0%</b>		<b>0</b>	<b>0.0%</b>		<b>0</b>
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0
	<b>分類外</b>	<b>1,999,185</b>	<b>0.1%</b>		<b>108</b>	<b>0.1%</b>		<b>38</b>	<b>0.3%</b>		<b>52,610</b>
9999	分類外	1,999,185	0.1%		108	0.1%		38	0.3%		52,610

データ化範囲(分析対象)...**医科,調剤の電子レセプトのみ,対象診療年月は平成26年9月~平成27年2月診療分(6か月分)**

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費総計...中分類の疾病項目毎に集計するため,データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト,月遅れ等)場合集計できない,そのため他統計と一致しない。

レセプト件数...中分類における疾病項目毎に集計するため,合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

患者数...中分類における疾病項目毎に集計するため,合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

う蝕...「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

#### (4)医療機関受診状況の把握

以下は医療機関への過度な受診の可能性がある、重複、頻回受診者数と、同一薬効の医薬品を重複して処方されている重複服薬者数、併用禁忌とされる医薬品を処方されている薬剤併用禁忌対象者数を以下に示したものです。

(表31) 重複受診者数

	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
重複受診者数(人)	13	10	16	12	15	12
6か月間の延べ人数						78
6か月間の実人数						58

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

データホライゾン社特許医療費分解を用いて算出。

重複受診者数...1か月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

(表32) 頻回受診者数

	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
頻回受診者数(人)	47	38	27	35	29	33
6か月間の延べ人数						209
6か月間の実人数						105

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ、対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

頻回受診者数...1か月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

(表33) 重複服薬者数

	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
重複服薬者数(人)	15	49	60	70	76	71
6か月間の延べ人数						341
6か月間の実人数						189

データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

重複服薬者数...1か月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

(表34) 薬剤併用禁忌対象者数

	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
薬剤併用禁忌対象者(人)	30	39	31	52	57	51
6か月間の延べ人数						260
6か月間の実人数						160

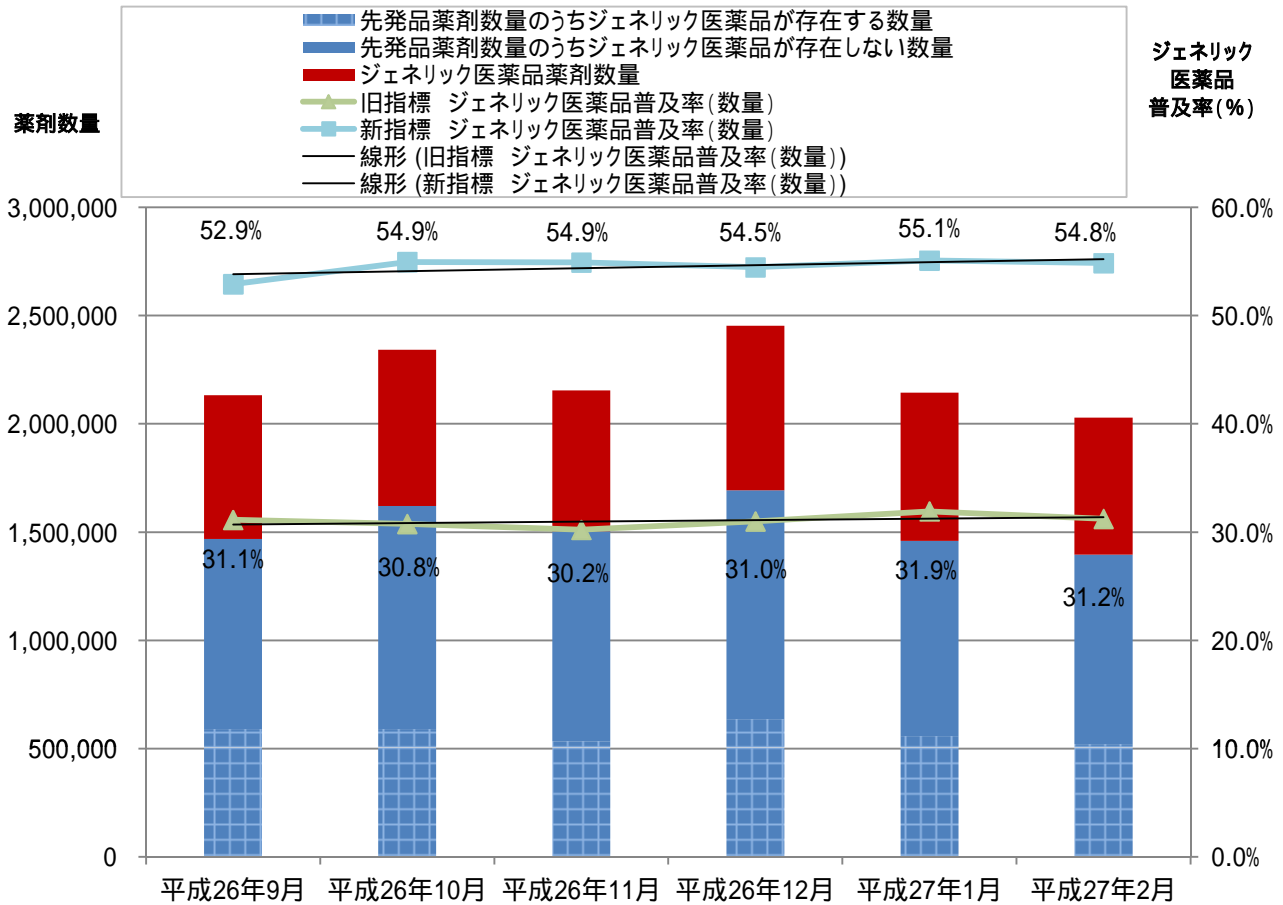
データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

薬剤併用禁忌対象者...1か月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

### (5)ジェネリック医薬品の普及状況

以下はジェネリック医薬品の普及状況を示したものです。

(図22)ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)...医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分)

## 2 統計結果

### (1)分析結果

(表35) 疾病大分類別

医療費総計が高い疾病	
1位	循環器系の疾患
2位	新生物
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
患者数の多い疾病	
1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
2位	循環器系の疾患
3位	消化器系の疾患
患者一人当たりの医療費が高額な疾病	
1位	新生物
2位	精神及び行動の障害
3位	循環器系の疾患

(表36) 疾病中分類別

医療費総計が高い疾病	
1位	その他の悪性新生物
2位	高血圧性疾患
3位	糖尿病
患者数の多い疾病	
1位	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患
2位	高血圧性疾患
3位	糖尿病
患者一人当たりの医療費が高額な疾病	
1位	白血病
2位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物
3位	くも膜下出血

(表37) 入院・入院外別

入院 医療費 割合	44.4%	入院における医療費総計が高い疾病(大分類)	
		1位	新生物
		2位	循環器系の疾患
		3位	精神及び行動の障害
入院外 医療費 割合	55.6%	入院外における医療費総計が高い疾病(大分類)	
		1位	循環器系の疾患
		2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
		3位	新生物

(表38) 年齢階層別医療費

医療費総計が高い年齢階層		医療費総計が高い疾病(大分類)	
1位	70歳～	1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	筋骨格系及び結合組織の疾患
2位	65歳～69歳	1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
3位	60歳～64歳	1位	新生物
		2位	循環器系の疾患
		3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患

(表39) (表40) 高額(5万点以上)レセプトの件数と割合

高額レセプト件数	158件 (月間平均)	高額レセプトの要因となる疾病 一人当たりの医療費が高額な疾病(中分類)	
高額レセプト件数割合	0.9%	1位	貧血
高額レセプト医療費割合	35.3%	2位	胃の悪性新生物
		3位	気管, 気管支及び肺の悪性新生物
		4位	その他の脳血管疾患
		5位	脳梗塞
		6位	結腸の悪性新生物

(表41) 医療機関受診状況

重複受診者	58人
頻回受診者	105人
重複服薬者	189人
薬剤併用禁忌対象者	160人

平成26年9月～平成27年2月診療分(6か月分) 期間中の実人数

### ジェネリック医薬品普及率

数量ベースのジェネリック医薬品普及率(新指標)は54.5%です。

### 3 予防可能な疾病の把握と課題の分析

#### (1) 医療(レセプト)の把握と分析

医療費状況の把握では、医療費総額から「循環器系の疾患」「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」の割合が高く、患者1人当たり医療費では、「新生物」「精神及び行動の障害」「循環器系の疾患」が高くなっています。(P42疾病大分類分析結果)

この中で「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」については予防可能な疾患があり、また健診データからもリスク対象者の特定が可能であることから、健康の保持増進と医療費適正化のため取り組むべき課題であり、介入により改善効果が期待されるものと位置づけます。脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症は「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」が重症化した状態であることから、この3疾患にしばって分析を行います。

(表42-) 高額になる疾患

対象レセプト(H26年度)		全体	脳血管疾患	虚血性心疾患
高額になる疾患 (80万円以上レセ)	人数	523人	32人 6.1%	63人 12.0%
	件数	917件	58件 6.3%	72件 7.9%
	費用額	12億2416万円	6933万円 5.7%	1億1946万円 9.8%

(表42-) 長期入院となる疾患

対象レセプト(H26年度)		全体	脳血管疾患	虚血性心疾患
長期入院 (6か月以上の入院)	人数	104人	24人 23.1%	7人 6.7%
	件数	801件	192件 24.0%	57件 7.1%
	費用額	3億9391万円	1億1826万円 30.0%	3374万円 8.6%

(表42-) 人工透析患者

対象レセプト		全体	脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症	
人工透析患者 (長期化する疾患)	H26.5 診療分	人数	25人	3人 12.0%	8人 32.0%	8人 32.0%
	H26年度 累計	件数	289件	32件 11.1%	115件 39.8%	78件 27.0%
		費用額	1億4693万円	2489万円 16.9%	6352万円 43.2%	3911万円 26.6%

(表42-) 生活習慣病の治療者数

対象レセプト(H26年5月診療分)		全体	脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症
生活習慣病の治療者数 構成割合	5,732人		748人 13.0%	980人 17.1%	101人 1.8%
	内訳(重複あり)		基礎疾患の重なり		
	高血圧	3,150人 55.0%	585人 78.2%	780人 79.6%	80人 79.2%
	糖尿病	2,088人 36.4%	355人 47.5%	616人 62.9%	101人 100.0%
	脂質 異常症	2,877人 50.2%	514人 68.7%	745人 76.0%	86人 85.1%

国保データベース(KDB)システム より

ひと月80万円以上の高額になる疾患を分析すると、虚血性心疾患が63人で12.0%、脳血管疾患が32人で6.1%となり、費用額全体の15.4%を占めています。これらの疾患は、1件あたりの費用が高額であり、予防可能な疾患であることから、費用対効果が期待できます。

長期入院(6か月以上の入院)の件数では、脳血管疾患が192件、24.0%と高く、費用額の全体の約30.0%を占めています。

長期化する疾患である人工透析患者については、全人数の32.0%が虚血性心疾患を、32.0%が糖尿病性腎症を併せもっています。新規透析導入者を増やさないように重症化予防をしていくことが医療費抑制の上で重要となります。

生活習慣病の治療者数・構成割合では脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症のそれぞれの疾患を予防していくために3つの疾患の基礎となる生活習慣病の有病状況について分析しています。脳血管疾患、虚血性心疾患については高血圧と脂質異常症が約7割を占めており、この2つの基礎疾患の重なりを持つ対象者に対策を講じることが効率的、効果的といえます。糖尿病性腎症については全員が糖尿病であり、糖尿病対策が重要です。

## (2) 介護(レセプト)の把握と分析

北広島市の1号被保険者の22.5%が要介護認定を受けており、約4人に1人が要介護認定を受け、75歳以上では43.6%で約5人に2人の認定率となっています。要介護認定を介護度別に見てみると、要介護3から5の重症者の割合が全体の24.3%を占め、平成26年度では485人が新規に介護認定を受けています。75歳以上の高齢者においては、認知症など脳の病変に起因するものや筋骨格系疾患が出現しています。

本計画の対象者は(表43)の太枠の40～74歳の国保被保険者となります。介護保険を利用している人の医療レセプトでは血管疾患の中の脳卒中が1位となっており、特に2号認定者では脳卒中が39.6%を占めています。予防が可能である血管疾患への対策が最重要課題となります。

また、介護を受けている人の医療費は、受けていない人より6,937円高く、2号認定者はほとんど健診未受診者であり、特定健診による生活習慣病予防、特に重症化予防のための高血圧、糖尿病、脂質異常症の予防に取り組んでいく必要があります。

(表43) 介護保険認定者の有病状況 (平成26年度)

要介護認定状況	受給者区分		2号		1号				合計									
	年齢		40～64歳		65～74歳		75歳以上		計									
	被保険者数	22,092人		7,531人		6,008人		13,539人		35,631人								
認定者数	91人		418人		2,622人		3,040人		3,131人									
認定率	0.41%		5.6%		43.6%		22.5%		8.8%									
新規認定者数(*1)	23人		101人		361人		462人		485人									
介護度別人数	要支援1・2	20	22.0%	184	44.0%	978	37.3%	1,162	38.2%	1,182	37.8%							
	要介護1・2	37	40.7%	143	34.2%	1,007	38.4%	1,150	37.8%	1,187	37.9%							
	要介護3～5	34	37.4%	91	21.8%	637	24.3%	728	23.9%	762	24.3%							
要介護突合状況	(レセプトの診断名より重複して計上)	疾患	順位	疾病	件数	割合	疾病	件数	割合	疾病	件数	割合	疾病	件数	割合			
		件数	--	91	418	2622	3040	3131										
		循環器疾患	1	脳卒中	36	39.6%	脳卒中	149	35.6%	脳卒中	1136	43.3%	脳卒中	1285	42.3%	脳卒中	1321	42.2%
			2	虚血性心疾患	16	17.6%	虚血性心疾患	133	31.8%	虚血性心疾患	1101	42.0%	虚血性心疾患	1234	40.6%	虚血性心疾患	1250	39.9%
			3	腎不全	6	6.6%	腎不全	44	10.5%	腎不全	344	13.1%	腎不全	388	12.8%	腎不全	394	12.6%
		基礎疾患(*2)	糖尿病	29	31.9%	糖尿病	197	47.1%	糖尿病	1466	55.9%	糖尿病	1663	54.7%	糖尿病	1692	54.0%	
			高血圧	42	46.2%	高血圧	270	64.6%	高血圧	2096	79.9%	高血圧	2366	77.8%	高血圧	2408	76.9%	
			脂質異常症	38	41.8%	脂質異常症	195	46.7%	脂質異常症	1516	57.8%	脂質異常症	1711	56.3%	脂質異常症	1749	55.9%	
		血管疾患合計	合計	51	56.0%	合計	323	77.3%	合計	2367	90.3%	合計	2690	88.5%	合計	2741	87.5%	
		認知症	認知症	8	8.8%	認知症	73	17.5%	認知症	961	36.7%	認知症	1034	34.0%	認知症	1042	33.3%	
		筋・骨格疾患	筋骨格系	43	47.3%	筋骨格系	298	71.3%	筋骨格系	2198	83.8%	筋骨格系	2496	82.1%	筋骨格系	2539	81.1%	

\*1) 新規認定者については、要介護突合状況の「開始年月日」を参照し、年度累計を計上  
 \*2) 基礎疾患のうち、糖尿病については、糖尿病の合併症(網膜症・神経障害・腎症)も含む

(図23) 要介護有無と医療費の差 (平成26年度)

	0	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	12,000
要介護認定者医療費 (40歳以上)						10,973円	
要介護認定なし医療費 (40歳以上)			4,036円				

国保データベース(KDB)システムより

(3) 健診結果の把握と分析

糖尿病等生活習慣病の発症には、内臓脂肪の蓄積が関与しており、肥満に加え、高血圧、高血糖等が重複した場合には、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症等の発症リスクが高くなります。

「メタボリックシンドロームの定義と診断基準」においては、高中性脂肪血症、耐糖能異常、高血圧、肥満のうち、3個以上合併した場合の危険率は正常の方の30倍以上にも達するとされています。また、内臓脂肪の蓄積は、リスクファクターの悪化や直接心血管疾患につながります。

表44のメタボリックシンドローム予備群は男女ともに同規模保険者、道、国より高く、11.6%となっています。

表45の結果を見ると、男性は40～64歳でメタボリックシンドローム予備群が23.3%で、リスクの重なりは高血圧(14.5%)、次いで脂質異常症(7.1%)となっています。65～74歳で多いメタボリックシンドローム該当者(27.1%)は、血圧+脂質(13.7%)、次いで3項目全て(8.3%)のリスクの重なりが多くなっています。

一方女性の場合は、メタボリックシンドローム予備群、該当者ともに65～74歳が7.4%、11.0%と若年者より高く、重なり項目では、予備群は高血圧(6.1%)、該当者では血圧+脂質(6.6%)、次いで3項目全て(3.3%)と高くなっています。

(表44)メタボリックシンドローム該当・予備群レベル(平成26年度)

項目		北広島市		同規模		道		国		
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
メタボ	該当者	587	16.2	203,284	16.5	26,556	16.3	1,168,365	16.5	
	男性	389	25.3	136,841	25.8	18,062	26.3	796,026	26.0	
	女性	198	9.5	66,443	9.5	8,494	9.0	372,339	9.3	
	予備群	422	11.6	131,909	10.7	17,698	10.9	756,989	10.7	
	男性	284	18.5	90,002	17.0	12,319	18.0	521,582	17.0	
	女性	138	6.6	41,907	6.0	5,379	5.7	235,407	5.9	
メタボ該当・予備群レベル	腹囲	総数	1,149	31.7	377,161	30.6	50,183	30.8	2,170,195	30.7
		男性	770	50.1	254,379	47.9	34,470	50.3	1,480,258	48.3
		女性	379	18.1	122,782	17.5	15,713	16.7	689,937	17.2
	BMI	総数	149	4.1	59,291	4.8	11,328	7.0	337,401	4.8
		男性	25	1.6	9,229	1.7	1,887	2.8	56,020	1.8
		女性	124	5.9	50,062	7.1	9,441	10.0	281,381	7.0
	血糖のみ	19	0.5	8,161	0.7	927	0.6	45,167	0.6	
	血圧のみ	294	8.1	91,195	7.4	12,256	7.5	526,687	7.4	
	脂質のみ	109	3.0	32,553	2.6	4,515	2.8	185,135	2.6	
	血糖・血圧	73	2.0	31,704	2.6	4,038	2.5	181,386	2.6	
血糖・脂質	26	0.7	11,275	0.9	1,422	0.9	62,401	0.9		
血圧・脂質	309	8.5	100,825	8.2	13,361	8.2	583,307	8.2		
血糖・血圧・脂質	179	4.9	59,480	4.8	7,735	4.8	341,271	4.8		

(表45)メタボリックシンドローム該当者・予備群の把握(厚生労働省様式6-8)(平成26年度)

性別		健診受診者		腹囲のみ		予備群		高血糖		高血圧		脂質異常症		該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性	合計	1,536	32.9	97	6.3%	284	18.5%	17	1.1%	188	12.2%	79	5.1%	389	25.3%	56	3.6%	22	1.4%	192	12.5%	119	7.7%
	40-64	365	19.7	34	9.3%	85	23.3%	6	1.6%	53	14.5%	26	7.1%	72	19.7%	10	2.7%	9	2.5%	31	8.5%	22	6.0%
	65-74	1,171	41.5	63	5.4%	199	17.0%	11	0.9%	135	11.5%	53	4.5%	317	27.1%	46	3.9%	13	1.1%	161	13.7%	97	8.3%
女性	合計	2,090	36.0	43	2.1%	138	6.6%	2	0.1%	106	5.1%	30	1.4%	198	9.5%	17	0.8%	4	0.2%	117	5.6%	60	2.9%
	40-64	616	27.5	23	3.7%	29	4.7%	1	0.2%	16	2.6%	12	1.9%	36	5.8%	4	0.6%	2	0.3%	19	3.1%	11	1.8%
	65-74	1,474	41.4	20	1.4%	109	7.4%	1	0.1%	90	6.1%	18	1.2%	162	11.0%	13	0.9%	2	0.1%	98	6.6%	49	3.3%

国保データベース(KDB)システムより

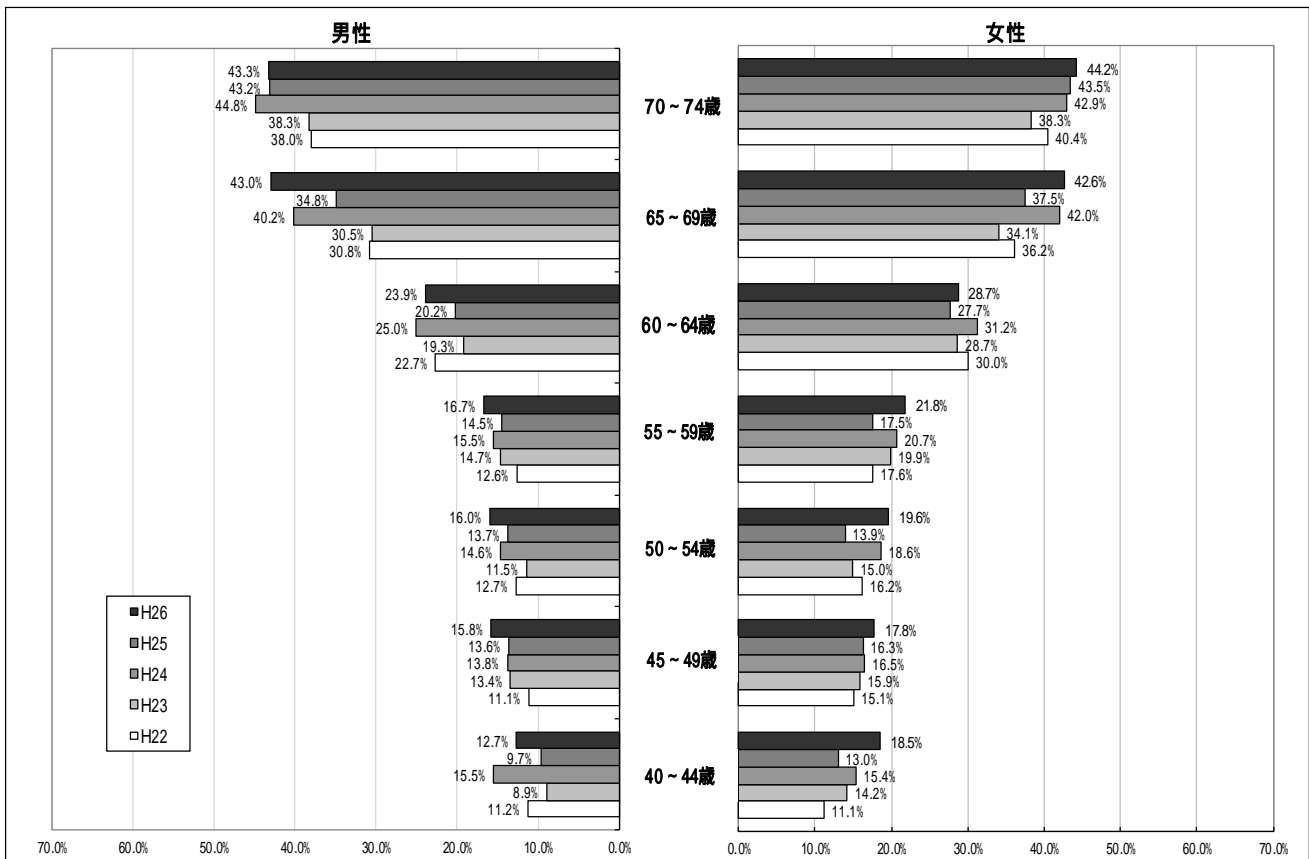
次に表46の健診データのうち、有所見割合の高い項目を性別、年代別に全国と比較してみると、男性は腹囲(50.1%)、空腹時血糖(29.9%)、尿酸(16.6%)、クレアチニン(2.1%)が高く、女性は腹囲(18.1%)、尿酸(2.3%)で高いことがわかります。

上記の結果を踏まえると、ターゲットは、男性の40代、50代の若い層となるが、その年代の特定健診受診率は20%にも届かないため、まず健診を受けてもらうことが最優先課題となります。

(表46) 健診データのうち有所見者割合の高い年代やデータを把握する(厚生労働省様式6-2~6-7)

性別	BMI		腹囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		空腹時血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		クレアチニン		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	29.4		48.3		28.1		19.7		8.8		26.3		53.1		12.8		49.7		24.2		48.8		1.6		
道	24,402	35.6	34,470	50.3	18,644	27.2	16,225	23.7	5,735	8.4	18,365	26.8	35,303	51.5	9,326	13.6	34,341	50.1	17,265	25.2	34,137	49.8	984	1.4	
保険者	合計	454	29.6	770	50.1	379	24.7	316	20.6	125	8.1	459	29.9	744	48.4	255	16.6	691	45.0	214	13.9	735	47.9	33	2.1
	40-64	119	32.6	191	52.3	99	27.1	111	30.4	36	9.9	93	25.5	147	40.3	72	19.7	131	35.9	62	17.0	205	56.2	6	1.6
	65-74	335	28.6	579	49.4	280	23.9	205	17.5	89	7.6	366	31.3	597	51.0	183	15.6	560	47.8	152	13.0	530	45.3	27	2.3
女性	20.4		17.2		16.4		8.4		2.0		15.6		52.8		1.6		43.4		14.6		58.7		0.2		
道	22,942	24.4	15,713	16.7	14,278	15.2	9,177	9.7	1,826	1.9	14,390	15.3	45,533	48.3	1,698	1.8	40,596	43.1	14,723	15.6	54,481	57.8	216	0.2	
保険者	合計	413	19.8	379	18.1	246	11.8	183	8.8	26	1.2	311	14.9	905	43.3	48	2.3	827	39.6	183	8.8	1,194	57.1	4	0.2
	40-64	103	16.7	88	14.3	76	12.3	49	8.0	8	1.3	65	10.6	228	37.0	12	1.9	163	26.5	62	10.1	368	59.7	0	0.0
	65-74	310	21.0	291	19.7	170	11.5	134	9.1	18	1.2	246	16.7	677	45.9	36	2.4	664	45.0	121	8.2	826	56.0	4	0.3

(図24) 特定健診受診率の推移



(4) 未受診者の状況

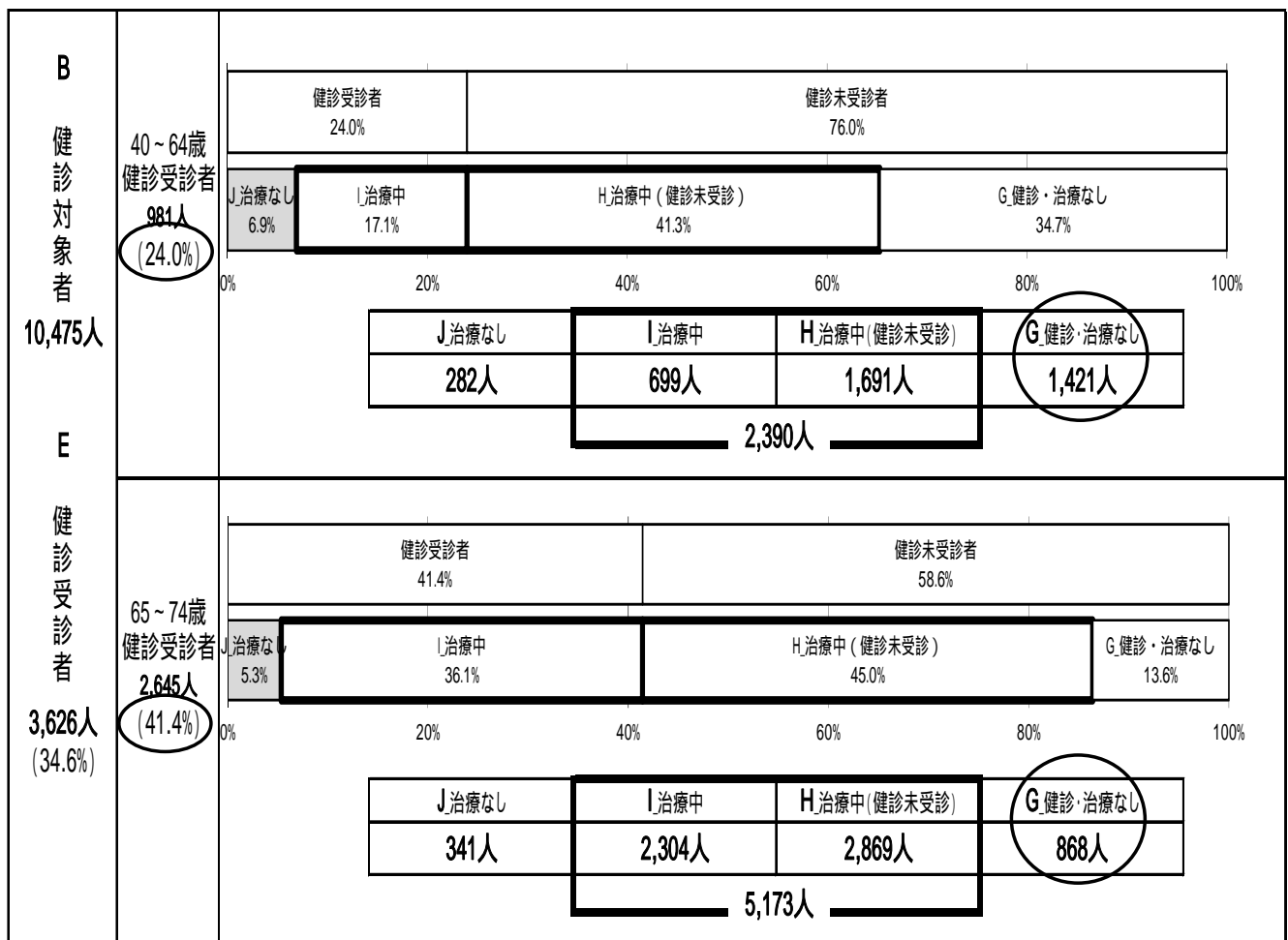
年齢別にみると65歳以上の受診率は41.4%となっているのに対し、40～64歳はわずか24%である。特に健診も治療も受けていない方(G)は、重症化しているかどうかの実態が全くわかりません。

また、図26のように、健診受診者と未受診者の医療費を比較すると、健診未受診者の1人当たり医療費は、健診受診者より34,379円も高くなっています。

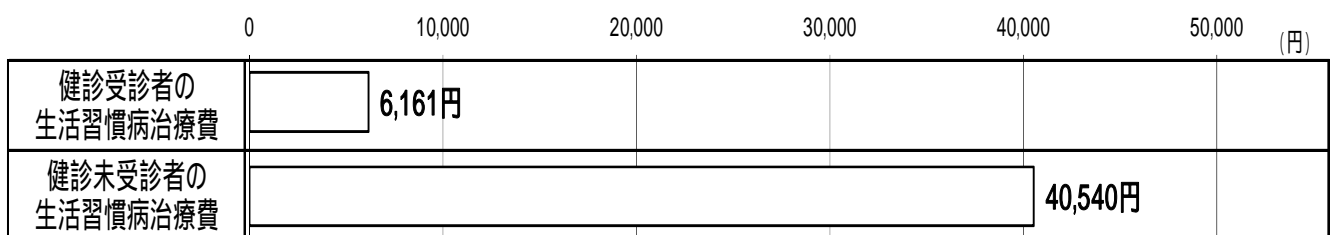
自覚症状がないまま進行する生活習慣病を予防するために、まず、健診の機会を提供し、状態に応じた保健指導を実施することにより、生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげます。

また、特定健診の結果、特定保健指導の対象にならないが、生活習慣病の重複するリスクが有るものに対しては、積極的に保健指導を実施する必要があります。

(図25) 未受診者対策を考える(厚生労働省様式6-10)(平成26年度)



(図26) 特定健診の受診有無と生活習慣病治療にかかっている医療費(平成26年度)



#### (5)重症化予防対象者の状況

(図27)は、北広島市の平成26年度特定健診受診者のうち、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の重症化予防対象者を各学会のガイドラインに基づき抽出したものです。重症化予防対象者は、1,152人で29.4%です。そのうち医療にかかっていない「治療なし」が365人、さらに臓器障害を起こしている対象者が116人で、早期に個別性を重視した対応が必要となります。

また、北広島市においては、重症化予防対象者と特定保健指導対象者が重なる人は、166人と少なく、残る199人の特定保健指導対象者以外の者へも保健指導を行っていく必要があります。

重症化予防対象者への取組みは、医療との連携が不可欠であり、保健指導を行った後、確実に医療機関を受診したのか、KDBシステムを活用して、医療受診の状況を確認し、その後も治療中断しないか等の疾病管理を行う必要があります。さらに、重症化予防のための二次健診の検討について医療機関と連携し、進めていくことも必要となります。

(図27) 重症化予防の対象者の把握  
 脳・心・腎を守るために - 重症化予防の視点で科学的根拠に基づき、保健指導対象者を明らかにする -

健康日本21 (第2次)目標 目指すところ	脳血管疾患 の年齢調整死亡率の減少	虚血性心疾患 の年齢調整死亡率の減少	糖尿病性腎症 による年間透析導入患者数の減少
	脳卒中治療ガイドライン2009 (脳卒中共同研究委員会)	虚血性心疾患の一次予防ガイドライン(2009年改訂版) (循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2009年版共同研究報告書))	糖尿病治療ガイド ライン2019 (日本糖尿病学会)
科学的根拠に基づき レセプトデータ、 介護保険データ、 その他統計資料等 に基づいて 健康課題を分析	クモ膜下出血 (7%) 脳出血 (18%) 脳梗塞 (75%) 心原性脳塞栓症 (27%) ラクナ脳塞栓 (31.9%) アテローム血栓性脳梗塞 (33.9%) 非心原性脳梗塞	心筋梗塞 労作性狭心症 安静狭心症	CKD診療ガイド (日本腎臓学会)
優先すべき 課題の明確化	心房細動 心臓細動	メタボリック シンドローム	慢性腎臓病(CKD)
科学的根拠に基づき 健診結果から 対象者の抽出	心房細動	脂質異常症	糖尿病
重症化予防対象	心房細動	LDL-C 180mg/dl以上	HbA1c(NGSP) 6.5%以上 (治療中:7.0以上)
受診者数 3,914 対象者数	41 1.0%	177 4.5%	37 0.9%
治療なし	11 0.6%	55 2.0%	4 0.2%
(再掲) 特定保健指導	4 9.8%	24 33.3%	2 5.4%
治療中	30 1.5%	17 1.5%	33 1.7%
臓器障害 あり	11 100.0%	35 21.6%	4 100.0%
CKD(専門医対象者)	1	4	4
尿蛋白(2+)以上	0	1	4
尿蛋白(+) and 尿潜血(+)以上	0	1	0
eGFR50未満 (70歳未満は40未満)	1	2	1
心電図所見あり	29	33	1
臓器障害 なし	59 67.0%	127 78.4%	76 73.1%
		43 78.2%	62 71.3%
			24 100.0%
			24
			1
			0
			24
			6
			--
			116 31.8%
			32
			4
			5
			24
			91
			--
			1,152 29.4%
			365 19.1%
			166 14.4%
			787 39.4%

## (6) 目的・目標の設定

### 健康寿命の延伸と健康格差の縮小への取組み

今回の計画は、新たに保険者の特性等を分析し生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底により、健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)の延伸を図り、医療費の適正化につなげていくものです。

北広島市の医療の状況では、高血圧疾患や虚血性疾患等の循環器疾患医療費が高く患者数も多い状況にあり、介護では、要介護者の有病状況として、循環器疾患である脳卒中の割合が高くなっており、高血圧、糖尿病や脂質異常といった生活習慣病が要介護の要因となっています。

これらの結果から、治療が長期化し生活の質(QOL)の低下につながる循環器疾患である虚血性疾患や脳血管疾患、糖尿病性腎症の重症化予防の取組みを推進します。

### これまでの取組みと今後の方針

北広島市においては、これまでメタボリックシンドロームをターゲットとした特定健康診査・特定保健指導に取り組み、特定健康診査受診率は徐々に向上し、特定保健指導も一定以上の指導率を維持しています。

特定健康診査については、受診率は伸びていますが、目標率に達しておらず、特に男性の40代50代については20%にも届かない低い状況となっています。

特定保健指導については、一人ひとりの課題を解決するため、健診結果説明会や家庭訪問を実施して、1人でも多くの方へ保健指導を行うことに力を注ぎ、医療機関との連携にも取り組んできました。

しかし、メタボリックシンドローム該当者の減少は見られず、重症化である虚血性心疾患、脳血管疾患の新規患者数は同規模と比較して高いことが明らかになり、また、糖尿病性腎症の予備群である糖尿病は新規患者数が多い状況にあります。

今後は、健康状態を知る健診の受診が重要であり、これまで以上に効果的な受診勧奨による受診率の向上に取り組みます。保健指導では、重症化予防対象者を明確にし、血管変化まで起こしているにもかかわらず、治療を受けていない方に治療の必要性を理解してもらい治療につなげていきます。また、レセプトの活用により治療の中断の有無を確認し、中断者への保健指導など継続したフォローによる重症化予防を徹底します。

## 成果目標

### ア 中長期的な目標の設定

これまでの健診・医療情報を分析した結果、医療費が高額となる疾患、6か月以上の入院における疾患、長期化することで高額になる疾患で、介護認定者の有病状況の多い疾患でもある虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の3疾患を平成27年度から平成29年度まで3年間の間に減らしていくことを目標とします。

医療費については今後高齢化が進展すること、また年齢が高くなるほど心臓、脳、腎臓のそれぞれの血管も傷んでくることを考えると、医療費そのものを抑えることは厳しいことから、医療費の伸びを抑えることを目標とします。

北広島市の医療のかかり方は、普段は医療にかからず、重症化して入院する実態が明らかです。目標は、重症化予防をし、入院にかかる費用を抑えることとします。

### イ 短期的な目標の設定

虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の血管変化における共通のリスクとなる、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等を減らしていくことを短期的な目標とし、毎年、血圧、血糖、脂質、慢性腎臓病（CKD）の検査結果を改善していくこととします。

そのためには、医療受診が必要な者に適切な受診への働きかけと、治療を継続するための働きかけをするとともに、継続的な治療が必要であるにもかかわらず、医療機関の受診を中断している者についても適切な保健指導を行います。その際には必要に応じて医療機関と十分な連携を図っていきます。

医療機関へ受診していても解決しない疾患にメタボリックシンドロームと糖尿病がありますが、これらは、治療において薬物療法だけでは改善が難しく、食事療法と併用して治療を行うことが必要な疾患であるため、栄養指導等の保健指導を行っていきます。

さらに、生活習慣病は自覚症状がないため、まずは健診の機会を提供し、状態に応じた保健指導を実施することにより、生活習慣病の発症予防・重症化予防につなげることが重要です。そのためには特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上にも努める必要があります。

その目標値は、北広島市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に準ずることとします。

(表47) 目標値

	項目	現状		目標値	
		(平成26年度)		(平成29年度)	
中長期的目標	虚血性疾患患者数の減少	980人		減少	
	脳血管疾患患者数の減少	748人			
	糖尿病性腎症患者数の減少	101人			
	1人当たり医療費の減少	29,464円			
	1人当たり入院医療費の減少	13,170円			
短期的目標	メタボリックシンドローム 該当率の減少	男性	25.3%	減少	
		女性	9.5%		
	重症 化割 予合 防の 対減 象少 者 の	高血圧 度以上 (収縮期160mmHg 以上又は拡張期100mmHg 以上)	4.1%		
		LDLコレステロール 180mg/d l 以上	4.5%		
		中性脂肪 300mg/d l 以上	1.8%		
		HbA1c 6.5%以上 (治療中7.0%以上)	5.8%		
		特定健康診査受診率	35.7% (平成26年度法定報告)		60%
		特定保健指導実施率	60.5% (平成26年度法定報告)		60%

# 保健事業の実施内容

## 1 実施事業の目的と概要

各事業を実施する目的と概要を以下のとおり定めます。

(表48) 保健事業実施内容(平成27年度～平成29年度)

目的	重症化予防			発症予防			
目標	・人工透析新規導入者の減少	・検査データの改善 ・医療機関受診率の向上	・特定保健指導実施率の向上	・検査データの改善 ・医療機関受診率の向上		・健診受診率向上	
課題分析	<p>・80万円以上の高額になる疾患では1位が虚血性心疾患で全人数の12.0%を占めています。虚血性心疾患と重なる基礎疾患は、高血圧が79.6%、脂質異常76.0%、糖尿病62.9%となっています。</p> <p>・6か月以上の長期入院レセプトの分析では、脳血管疾患が高く、全体の24.0%の件数で、30.0%の費用を占めています。</p> <p>・長期療養する疾患である人工透析患者の32.0%が虚血性心疾患と糖尿病性腎症を併せ持っており、重症化を予防することで人工透析新規導入者を減らすことができます。</p> <p>・重症化予防対象者はのうち治療なしが365人で、さらに臓器障害ありただちに取り組むべき予防対象者が116人います。</p> <p>・受診勧奨値以上の対象者へ保健指導、適切な医療につなげ、重症化予防を行う必要があります。</p>			<p>・介護保険2号認定者のなかに、脳血管疾患等の血管疾患が39.6%を占め、予防可能である血管疾患を守る必要があります。</p>		<p>・健診受診率が目標に達していない。特に40～64歳の受診率が低いです。</p> <p>・継続受診者が少ないです。</p> <p>・健診、治療とにもいない人が2289人います。</p>	
対象者	・糖尿病治療中者	<p>健診結果により未治療で以下の者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・度高血圧以上</li> <li>・HbA1c6.5以上</li> <li>・LDLコレステロール180以上</li> <li>・尿酸8.0以上</li> <li>・尿たん白(+)以上</li> <li>・eGFR50未満</li> <li>・眼底検査でシェイエ分類Hの所見有</li> <li>・心電図検査で心房細動または虚血所見有</li> </ul>	<p>健診結果により特定保健指導対象者で以下の者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空腹時血糖125未満またはHbA1c6.5未満</li> <li>・尿たん白(-)または(±)</li> </ul>	・特定保健指導対象者	・健診結果により情報提供者	・30歳代の国保被保険者	<p>・継続受診のない者</p> <p>・健診、治療ともに受診していない者</p>
事業内容	<p>糖尿病性腎症重症化予防</p> <p>・個別支援、医療機関との連携</p>	<p>・健康状態の把握</p> <p>・受診勧奨</p> <p>・必要時レセプトによる受診状況の確認</p>	・二次健診	・特定保健指導	<p>・健診結果の説明</p> <p>・保健指導、栄養指導</p> <p>・継続受診の勧め</p>	<p>・30歳代健診の実施</p> <p>・30歳代健診受診者のうち特定保健指導及び特定健診の重症化予防の基準に合致した者へ保健指導を実施</p>	<p>・継続受診勧奨通知</p> <p>・訪問または電話勧奨</p> <p>・55ドック</p> <p>・治療時の検査データの受領</p> <p>・セット健診</p> <p>・町内回覧、特定健診ニュースの発行</p>
実施期間	6月～2月	通年		7月～		4月～	
実施場所	自宅等	<p>・結果説明会</p> <p>・自宅</p>		<p>・健診機関</p> <p>・結果説明会</p> <p>・自宅</p>		<p>・個別通知</p> <p>・健診機関</p> <p>・自宅</p> <p>・電話</p>	

健診受診者のうち、生活習慣病に関する治療をしていないと回答した人、かつ各ガイドラインに沿って治療が必要な対象者を抽出し、ハイリスク者から優先的に訪問等による保健指導や医療機関への受診勧奨を実施します。

特定保健指導対象者については、国が定める基準により健診結果から対象者を抽出し、継続的な保健指導を実施します。

30歳代の被保険者に対して、特定保健指導及び特定健診の重症化予防の対象基準と同じく沿って対象者を抽出し、保健指導を実施します。

特定健診未受診者のうち、医療にかかっていない人を対象に積極的な受診勧奨を行います。

## 2 その他の保健事業

### (1)慢性閉塞性肺疾患(COPD)対策

WHO(世界保健機関)は慢性閉塞性肺疾患(COPD)を「予防でき、治療できる病気」と位置付け、啓発運動を進めることを提言しています。日本では平成24年(2012年)、慢性閉塞性肺疾患(COPD)は「健康日本21(第2次)」の中で、今後、取り組むべき深刻な病気とされ新たに加えられました。

「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン 第4版」(日本呼吸器学会 2013年4月発行)に基づき、生活習慣病対策として発症予防と重症化予防の推進を図る必要があります。

#### 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の定義と包括的疾患概念

タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露(化学物質と接触)することで生じた肺の炎症性疾患である。呼吸機能検査で正常に復することのない気流閉塞を示す。気流閉塞は末梢気道病変と気腫性病変がさまざまな割合で複合的に作用することにより起こり、通常は進行性である。臨床的には徐々に生じる労作性の呼吸困難や慢性の咳、痰を特徴とするが、これらの症状に乏しいこともある。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン 第4版(日本呼吸器学会)P5 2013年4月発行

#### 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の経済的負荷と社会負荷

国民医療の統計資料によると、呼吸器疾患の医療費は一般診療医療費の7.5%前後を推移しています。呼吸器疾患医療費に占める「慢性閉塞性肺疾患(COPD)」の平成25年度における医療費の割合は7%前後、総額は1,500億円を上回り、増加傾向にあります。(表49)

(表49)呼吸器疾患の医療費

年 度	総数医療費 (単位:億)	呼吸器疾患医療費 (単位:億) 医療費に占める割合 (%)	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の医療費		
			総額(単位:億)	(内 訳)	
			呼吸器疾患医療費 に占める割合(%)	入院	入院外
平成23年	278,129	21,707 7.8	1,441 6.6	725 50.3	715 49.6
平成24年	283,198	21,507 7.6	1,410 6.6	695 49.3	715 50.7
平成25年	287,447	21,211 7.4	1,514 7.1	723 47.8	791 52.2

政府統計 e-Stat 国民医療費より

## たばこが及ぼす影響

タバコ煙は慢性閉塞性肺疾患(COPD)の最大の危険因子で、慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の約90%に喫煙歴があります。慢性閉塞性肺疾患(COPD)の発症予防にはタバコ煙の暴露からの回避が重要であり、現在の青年期・壮年期の世代への生活習慣病の改善に向けた働きかけを重点的に行うことが大切です。

特に、子どもたちの受動喫煙や未成年者の喫煙は肺の正常な発達を著しく妨げます。さらに、成人になってから喫煙することで慢性閉塞性肺疾患(COPD)を発症しやすいことが知られています。

## 健康・医療情報を活用した被保険者の健康課題の分析・評価

(表50) 喫煙率の状況

(特定健診受診者)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
北広島市	12.9%	12.5%	13.1%
道	17.3%	17.6%	17.4%
同規模	13.1%	13.2%	13.2%
国	14.0%	14.1%	14.1%

(表51) 被保険者千人当たりレセプト件数(入院)

	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	肺気腫	間質性肺炎	気管支喘息
北広島市	0.011	0.067	0.101	0.090
道	0.034	0.045	0.059	0.100
同規模	0.033	0.041	0.062	0.090
国	0.030	0.037	0.058	0.088

KDBシステム 疾病別医療費分析(細小(82)分類) 平成26年度(累計)より

特定健診受診者の喫煙率は減少しています。

被保険者千人当たりのレセプト件数(入院)から呼吸器疾患の受診状況をみると、肺気腫、間質性肺炎での入院件数が国、道、同規模と比較して高い状況にあることから、喫煙率の更なる低下を中期目標とします。

## 事業の実施

北広島市健康づくり計画(第4次)に沿って、関係機関と連携を図り、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の知識と予防行動の普及啓発を実施します。

また、最大の危険因子であるたばこについても、各ライフステージに応じた禁煙指導を実施していきます。

(表52) ライフステージに応じた対策

ライフステージ	妊娠期	乳幼児期	学童期	青年・壮年・中年以降
肺の発達	・早期の時期(26日目): 肺になる組織(肺芽)ができる ・4か月ころ: 気管支となる部分やその先の終末細気管支までの基本的構造が完成 ・5か月ころ: 肺胞がつくられ、出産時には約6000万個	2歳ころには肺胞の80～90%以上が完成	18歳ころまでに完成 肺胞は約5億個	
実施機会	母子健康手帳発行時 マタニティスクール	赤ちゃん訪問 乳幼児健診 出前講座や育児交流会等	学校教育	健診 保健指導時
実施内容	窓口や健診・教室等での相談・保健指導		たばこの健康被害の知識普及 未成年者への禁煙指導	ポスター掲示やパンフレットの配布 施設の禁煙・分煙化

(2) 重複受診者等への適切な受診指導

健診・医療情報を活用したその他の取組みとしては、診療報酬明細書等情報を活用して、同一疾患で複数の医療機関を重複して受診、または同一の医療機関に一定回数以上受診している被保険者に対し、適正な受診についての保健指導を行います。

(3) 後発医薬品の使用促進

診療報酬等情報に基づき、後発医薬品の切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の被保険者に対し、後発医薬品を使用した場合の具体的な自己負担の差額に関して通知を行います。

### 3 事業実施計画(データヘルス計画)の評価方法の設定

評価については、国保データベース(KDB)システムの情報を活用し、毎年行うこととします。

また、データについては経年変化、国、道、同規模保険者との比較を行い、評価します。

(表53)全体の経年変化(様式6-1) 年度ごと及び同規模平均と比べてみた北広島市の位置

項目		H26		H27～毎年		同規模		データ元 (CSV)
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	
介護	介護保険	1号認定者数(認定率)		3,040	22.0			KDB_NO.1 地域全体像の把握
		新規認定者		54	0.3			
		2号認定者		91	0.4			
	有病状況	糖尿病		989	30.7			
		高血圧症		1,810	57.3			
		脂質異常症		1,118	35.8			
		心臓病		2,008	64.2			
		脳疾患		890	29.2			
		がん		445	13.5			
		筋・骨格		1,667	54.5			
		精神		1,277	40.3			
	介護給付費	1件当たり給付費(全体)		56,017				
		居宅サービス		38,473				
		施設サービス		298,027				
	医療費等	要介護認定別	認定あり	10,973				
医療費(40歳以上)		認定なし	4,036					
医療	国保の状況	被保険者数		14,626				KDB_NO.1 地域全体像の把握 KDB_NO.5 被保険者の状況
		65～74歳		6,731	46.0			
		40～64歳		4,790	32.7			
		39歳以下		3,105	21.2			
	加入率		24.3					
	医療の概況 (人口千対)	病院数		5	0.3			
		診療所数		34	2.3			
		病床数		682	46.6			
		医師数		63	4.3			
		外来患者数		685.0				
	入院患者数		23.7					
	医療費の 状況	一人当たり医療費(月)		29,464	道内55位 同規模22位			KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域 の健康課題 KDB_NO.1 地域全体像の把握
		受診率		708.691				
		外来	費用の割合	55.3				
			件数の割合	96.7				
入院		費用の割合	44.7					
	件数の割合	3.3						
1件あたり在院日数		15.8日						
医療費分析 生活習慣病に 占める割合 最大医療資源傷病 名(調剤含む)	がん		810,240,740	28.5			KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域	
	慢性腎不全(透析あり)		118,625,940	4.2				
	糖尿病		268,320,380	9.4				
	高血圧症		257,802,090	9.1				
	精神		420,752,590	14.8				
	筋・骨格		412,096,390	14.5				
費用額 (1件当たり) 道内順位 順位総数181	入院	糖尿病		581,299	72位	(16)	KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域	
		高血圧		638,382	63位	(16)		
		脂質異常症		598,335	50位	(15)		
		脳血管疾患		660,779	72位	(20)		
		心疾患		695,815	79位	(13)		
		腎不全		794,021	63位	(19)		
		精神		529,208	29位	(23)		
	悪性新生物		665,899	59位	(15)			
	入院の( )内は 在院日数	糖尿病		33,324	148位			
		高血圧		30,090	121位			
		脂質異常症		28,937	107位			
		脳血管疾患		33,598	120位			
		心疾患		36,934	133位			
		腎不全		137,277	116位			
精神		29,881	87位					
悪性新生物		50,983	91位					
健診有無別 一人当たり 点数	健診対象者 一人当たり	健診受診者	2,100				KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域	
		健診未受診者	13,817					
	生活習慣病対象者 一人当たり	健診受診者	6,161					
		健診未受診者	40,540					
健診・レセ 突合	受診勧奨者		1,941	53.5			KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	医療機関受診率		1,825	50.3				
	医療機関非受診率		116	3.2				

## 医療費の変化

(表54) 総医療費

KDB帳票No.052「医療費分析の経年比較」

項目	総医療費(円)					
	全体		入院		入院外	
	費用額	増減	費用額	増減	費用額	増減
平成24年度	4,925,074,970	—	2,152,257,761	—	2,772,817,208	—
平成25年度	5,403,844,550	478,769,580	2,404,710,824	252,453,063	2,999,133,725	226,316,517
平成26年度	5,242,931,010	-160,913,540	2,343,590,161	-61,120,663	2,899,340,848	-99,792,877
平成27年度						
平成28年度						
平成29年度						

(表55) 一人当たり医療費

	項目	1人当たり医療費(円)			伸び率(%)		
		全体	入院	入院外	全体	入院	入院外
平成24年度	北広島市	27,173	11,875	15,298			
	同規模	22,574	9,346	13,228			
	道	25,475	11,489	13,986			
	国	21,557	8,838	12,719			
平成25年度	北広島市	29,562	13,155	16,407	8.8%	10.8%	7.2%
	同規模	23,556	9,634	13,922	4.4%	3.1%	5.2%
	道	26,579	11,881	14,698	4.3%	3.4%	5.1%
	国	22,779	9,225	13,554	5.7%	4.4%	6.6%
平成26年度	北広島市	29,464	13,170	16,294	-0.3%	0.1%	-0.7%
	同規模	24,081	9,801	14,280	2.2%	1.7%	2.6%
	道	26,642	11,882	14,760	0.2%	0.0%	0.4%
	国	23,292	9,387	13,905	2.3%	1.8%	2.6%
平成27年度	北広島市						
	同規模						
	道						
	国						
平成28年度	北広島市						
	同規模						
	道						
	国						
平成29年度	北広島市						
	同規模						
	道						
	国						

KDBの1人当り医療費は、月平均額での表示となる。

疾病の発生状況の経年変化(1)

(表56) 虚血性心疾患の発生状況

KDB帳票No.21・No.23「厚労省様式」「医療費分析(1)細小分類」

疾患	虚血性心疾患								
	患者数	増減	伸び率	新規患者数(千人当たり) (狭心症)		入院医療費(円)			
				北広島市	同規模	狭心症	伸び率	心筋梗塞	伸び率
平成24年	949			5.559	3.597	3,779,440			
平成25年	1003	54人	5.7%	9.254	3.768	11,316,160	199.4%		
平成26年	980	-23人	-2.3%	7.011	3.451	12,037,140	6.4%		
平成27年	931	-49人	-5.0%	7.017	3.175	15,669,100	30.2%		
平成28年									
平成29年									

毎年5月診療分(KDB7月作成)

(表57) 脳血管疾患の発生状況

疾患	脳血管疾患								
	患者数	増減	伸び率	新規患者数(千人当たり) (脳梗塞)		入院医療費(円)			
				北広島市	同規模	脳出血	伸び率	脳梗塞	伸び率
平成24年	682			3.197	3.131	8,921,000		2,772,720	
平成25年	741	59人	8.7%	3.570	3.275	5,212,760	-41.6%	5,970,040	115.3%
平成26年	748	7人	0.9%			4,609,500	-11.6%	9,962,500	66.9%
平成27年	689	-59人	-7.9%	4.771	2.873	3,657,580	-20.7%	10,067,070	1.0%
平成28年									
平成29年									

毎年5月診療分(KDB7月作成)

(表58) 糖尿病性腎症の発生状況

疾患	糖尿病性腎症						
	患者数	増減	伸び率	新規患者数(千人当たり)		入院医療費(円)	
				北広島市	同規模	糖尿病	伸び率
平成24年	67			2.085	0.744	1,655,330	
平成25年	124	57人	85.1%	2.247	0.689	757,510	-54.2%
平成26年	101	-23人	-18.5%	0.539	0.733	1,348,040	78.0%
平成27年	78	-23人	-22.8%	0.281	0.678	1,770,800	31.4%
平成28年							
平成29年							

毎年5月診療分(KDB7月作成)

(表59) 慢性閉塞性肺疾患

疾患	慢性閉塞性肺疾患(COPD) (82疾病)			
	患者数(千人当たり) 入院		患者数(千人当たり) 入院外	
	北広島市	同規模	北広島市	同規模
平成24年度	0.011	0.018	0.579	0.582
平成25年度	0.011	0.022	1.209	0.893
平成26年度	0.011	0.033	0.747	0.781
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				

疾病の発生状況の経年変化(2)  
(表60) 共通する基礎疾患(短期的な目標疾患)

KDB帳票No.21「厚労省様式」「医療費分析(1)細小分類」

疾患	糖尿病					高血圧					脂質異常症				
	患者数	増減	増減率	新規患者数(千人当たり)		患者数	増減	増減率	新規患者数(千人当たり)		患者数	増減	増減率	新規患者数(千人当たり)	
				北広島市	同規模				北広島市	同規模				北広島市	同規模
平成24年	1,906			20.848	13.527	3,060			17.095	13.754	2,684			15.566	11.886
平成25年	2,103	197	10.3%	26.044	13.715	3,204	144	4.7%	20.360	13.899	2,810	126	4.7%	17.583	11.969
平成26年	2,088	-15	-0.7%	24.134	13.556	3,150	-54	-1.7%	17.392	13.095	2,877	67	2.4%	18.876	11.513
平成27年	2,116	28	1.3%	23.716	13.295	2,961	-189	-6.0%	21.892	12.840	2,754	-123	-4.3%	15.156	11.030
平成28年															
平成29年															

毎年5月診療分(KDB 7月作成)

(表61) 有所見者割合の経年変化  
健診アンケートのうち有所見者割合の高い項目や年代を把握する(厚生労働省6-2-6-7)

	BMI		腰囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		空腹時血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		クレアニン			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
男性																										
合計	471	30.3	795	51.1	369	23.7	317	20.4	132	8.5	443	28.5	754	48.5	245	15.8	696	44.8	245	15.8	752	48.4	31	2.0		
平成24年度	136	32.7	222	53.4	120	28.9	106	25.5	33	7.9	108	26.0	182	43.8	63	15.1	136	32.7	68	16.4	237	57.0	3	0.7		
平成25年度	408	28.6	727	50.9	316	22.1	284	19.9	118	8.3	396	27.7	653	45.7	212	14.8	633	44.3	210	14.7	662	46.4	40	2.8		
平成26年度	103	29.7	176	50.7	99	28.5	88	25.4	34	9.8	87	25.1	145	41.8	64	18.4	110	31.7	56	16.1	191	55.0	4	1.2		
平成27年度	305	28.2	551	51.0	217	20.1	196	18.1	84	7.8	309	28.6	508	47.0	148	13.7	523	48.4	154	14.3	471	43.6	36	3.3		
平成28年度	454	29.6	770	50.1	379	24.7	316	20.6	125	8.1	459	29.9	744	48.4	255	16.6	691	45	214	13.9	735	47.9	33	2.1		
平成29年度	119	32.6	191	52.3	99	27.1	111	30.4	36	9.9	93	25.5	147	40.3	72	19.7	131	35.9	62	17	205	56.2	6	1.6		
平成30年度	335	28.6	579	49.4	280	23.9	205	17.5	89	7.6	366	31.3	597	51	183	15.6	560	47.8	152	13	530	45.3	27	2.3		
平成31年度																										
平成32年度																										
平成33年度																										
平成34年度																										
平成35年度																										
平成36年度																										
平成37年度																										
平成38年度																										
平成39年度																										
平成40年度																										

	BMI		腰囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		空腹時血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		クレアニン			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
女性																										
合計	437	21.2	371	18.0	229	11.1	218	10.6	36	1.7	310	15.0	884	42.8	43	2.1	802	38.9	174	8.4	1184	57.4	7	0.3		
平成24年度	729	16.3	119	16.3	100	13.7	66	9.1	80	11.0	5	0.7	88	12.1	236	32.4	14	1.9	211	28.9	451	61.9	2	0.3		
平成25年度	318	23.8	271	20.3	165	12.4	138	10.3	31	2.3	222	16.6	648	48.5	29	2.2	591	44.3	116	8.7	733	54.9	5	0.4		
平成26年度	398	20.7	339	17.6	237	12.3	175	9.1	25	1.3	298	15.5	796	41.4	50	2.6	775	8.2	191	8.2	1067	40.0	6	0.3		
平成27年度	124	19.9	94	15.1	73	11.7	53	8.5	9	1.4	78	24.1	222	35.6	15	4.6	186	27.4	68	21.0	365	58.5	1	0.1		
平成28年度	274	21.1	245	18.8	164	12.6	122	9.4	16	1.2	220	16.9	574	44.1	35	2.7	589	45.3	123	9.5	702	54.0	5	0.2		
平成29年度	413	19.8	379	18.1	246	11.8	183	8.8	26	1.2	311	14.9	905	43.3	48	2.3	827	39.6	183	8.8	1194	57.1	4	0.2		
平成30年度	103	16.7	88	14.3	76	12.3	49	8	8	1.3	65	10.6	228	37	12	1.9	163	26.5	62	10.1	368	59.7	0	0		
平成31年度	310	21	291	19.7	170	11.5	134	9.1	18	1.2	246	16.7	677	45.9	36	2.4	664	45	121	8.2	826	56	4	0.3		
平成32年度																										
平成33年度																										
平成34年度																										
平成35年度																										
平成36年度																										
平成37年度																										
平成38年度																										
平成39年度																										
平成40年度																										

(表62)メタボリック該当者・予備群の経年比較  
メタボリックシンドローム該当者・予備群の把握(厚生労働省様式6-8)

男性	健診受診者			腰囲のみ			予備群			高血糖			高血圧			脂質異常症			該当者			血糖+血圧			血糖+脂質			血圧+脂質			3項目全て										
	人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合						
合計	1555	32.9%		102	6.6%		309	19.9%		19	1.2%		205	13.2%		85	5.5%		384	24.7%		61	3.9%		24	1.5%		169	10.9%		130	8.4%									
平成24年度	416	20.8%		43	10.3%		97	23.3%		7	1.7%		54	13.0%		36	8.7%		82	19.7%		9	2.2%		8	1.9%		32	7.7%		33	7.9%									
65-74歳	1139	42.0%		59	5.2%		212	18.6%		12	1.1%		151	13.3%		49	4.3%		302	26.5%		52	4.6%		16	1.4%		137	12.0%		97	8.5%									
合計	1428	30.2%		84	5.9%		280	19.6%		23	1.6%		184	12.9%		73	5.1%		363	25.4%		54	3.8%		17	1.2%		194	13.6%		98	6.9%									
40-64歳	347	17.8%		25	7.2%		76	21.9%		11	3.2%		34	9.8%		31	8.9%		75	21.6%		8	2.3%		5	1.0%		36	10.4%		26	7.5%									
65-74歳	1081	39.0%		59	5.5%		204	18.9%		12	1.1%		150	13.9%		42	3.9%		288	26.6%		46	4.3%		12	1.4%		158	14.6%		72	6.7%									
合計	1536	32.9%		97	6.3%		284	18.5%		17	1.1%		188	12.2%		79	5.1%		389	25.3%		56	3.6%		22	1.4%		192	12.5%		119	7.7%									
40-64歳	365	19.7%		34	9.3%		85	23.3%		6	1.6%		53	14.5%		26	7.1%		72	19.7%		10	2.7%		9	2.5%		31	8.5%		22	6.0%									
65-74歳	1171	41.5%		63	5.4%		199	17.0%		11	0.9%		135	11.5%		53	4.5%		317	27.1%		46	3.9%		13	1.1%		161	13.7%		97	8.3%									
平成27年度																																									
平成28年度																																									
平成29年度																																									

女性	健診受診者			腰囲のみ			予備群			高血糖			高血圧			脂質異常症			該当者			血糖+血圧			血糖+脂質			血圧+脂質			3項目全て									
	人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合					
合計	2064	36.0%		41	2.0%		133	6.4%		5	0.2%		100	4.8%		28	1.4%		197	9.5%		27	1.3%		10	0.5%		113	5.5%		47	2.3%								
平成24年度	729	28.6%		14	1.9%		36	4.9%		1	0.1%		25	3.4%		10	1.4%		50	6.9%		11	1.5%		4	0.6%		24	3.3%		11	1.5%								
65-74歳	1335	41.8%		27	2.0%		97	7.3%		4	0.3%		75	5.6%		18	1.3%		147	11.0%		16	1.2%		6	0.4%		89	6.7%		36	2.7%								
合計	1925	33.0%		34	1.8%		116	6.0%		2	0.1%		86	4.5%		28	1.5%		189	9.8%		19	1.0%		8	0.4%		122	6.3%		40	2.1%								
40-64歳	624	25.6%		13	2.1%		32	5.1%		2	0.3%		17	2.7%		13	2.1%		49	7.9%		8	1.0%		2	0.3%		30	4.8%		11	1.8%								
65-74歳	1301	38.3%		21	1.6%		84	6.5%		0	0.0%		69	5.3%		15	1.2%		140	10.8%		13	1.0%		6	0.5%		92	7.1%		29	2.2%								
合計	2090	36.0%		43	2.1%		138	6.6%		2	0.1%		106	5.1%		30	1.4%		198	9.5%		17	0.8%		4	0.2%		117	5.6%		60	2.9%								
40-64歳	616	27.5%		23	3.7%		29	4.7%		1	0.2%		16	2.6%		12	1.9%		36	5.8%		4	0.6%		2	0.3%		19	3.1%		11	1.8%								
65-74歳	1474	41.4%		20	1.4%		109	7.4%		1	0.1%		90	6.1%		18	1.2%		162	11.0%		13	0.9%		2	0.1%		98	6.6%		49	3.3%								
平成27年度																																								
平成28年度																																								
平成29年度																																								

(表63) 質問票調査の経年比較  
生活習慣の変化

KDB帳票No.22「質問票項目集計集」(保険者、同規模別)

項目	服薬			喫煙	週3回以上 朝食を抜く	週3回以上 夕食後 間食	週3回以上 就寝前 夕食	食べる 速度が 速い	20歳時 体重から 10kg体重 増加	1日30分 以上運動 なし	1日1時間 以上運動 なし	睡眠不足	毎日飲酒	時々飲酒
	高血圧症	糖尿病	脂質異常症											
平成24年度	36.9%	9.2%	27.4%	12.9%	7.1%	13.6%	12.6%	27.5%	31.5%	57.2%	63.3%	19.6%	21.9%	26.9%
平成25年度	38.2%	9.3%	29.5%	12.5%	6.9%	14.3%	12.8%	26.2%	31.2%	55.8%	60.7%	19.8%	22.0%	25.7%
平成26年度	37.6%	8.9%	30.0%	13.1%	6.7%	14.5%	11.5%	26.0%	31.0%	58.6%	63.1%	19.9%	20.8%	26.8%
平成27年度														
平成28年度														
平成29年度														

(表64) 特定健診受診率、特定保健指導実施率、受診勧奨者経年比較

項目	特定健診			特定保健指導			法定報告値 受診勧奨者	
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	終了者数	実施率	医療機関受診率	
							北広島市	同規模平均
平成24年度	10,328	3,619	35.0%	338	196	58.0%	50.4%	51.2%
平成25年度	10,382	3,342	32.2%	292	189	64.7%	50.0%	51.0%
平成26年度	10,328	3,687	35.7%	334	202	60.5%		
平成27年度								
平成28年度								
平成29年度								

#### 4 データヘルス計画の見直し

毎年、特定健診の結果や受療状況の経年比較を行い、改善度を評価します。また、目標の達成状況を踏まえ、必要に応じて事業内容等の見直しを行います。

#### 5 計画の公表周知

計画は、北広島市のホームページに掲載し公表します。各種イベントや会議等の機会を利用して計画概要の周知を図ります。

#### 6 事業運営上の留意事項

計画の保健事業を運営するにあたり、衛生部門、介護部門の関係部署が共通認識を持ち業務の連携を図り、課題解決に取り組みます。また、医療機関等関係機関との連携を図り、計画を推進します。

#### 7 個人情報の保護

北広島市における個人情報の取り扱いは、北広島市個人情報保護条例(平成15年3月19日条例第4号)によるものとします。